

第2期子どもをみんなで育む計画 令和3年度事業評価集計(対象事業：全事業)

資料3

基本目標	事業番号	事業名	令和2年度	令和3年度
1 子育てを支援する地域づくり	★1	子育て及び家庭教育情報の提供	B	B
	★2	子育て支援総合窓口事業	B	B
	3	子育てガイドブックの発行	B	B
	4	各種相談	B	B
	5	地域子育て相談	B	B
	6	各種相談の連携	B	B
	7	相談担当職員の充実及び適正配置	B	B
	★8	保育所	B	C
	★9	送迎保育ステーション	B	B
	★10	地域子育て支援センター	B	B
	11	保育所の多機能化	D	C
	★12	幼保一元化	B	B
	13	多様な主体が本制度に参入することを促進するための事業	B	B
	★14	児童館・児童センター	B	B
	★15	学童クラブ施設	B	B
	16	夏休みの学校開放による「夏休み子ども教室」事業	D	B
	★17	療育施設	B	B
	18	市主催事業における託児サービス	B	B
	19	赤ちゃんほっとスペース	B	B
	★20	ファミリー・サポート・センター	B	B
	21	子育てグループの支援	B	B
	22	児童扶養手当	B	B
	23	児童手当	B	B
	24	特別児童扶養手当	B	B
	25	障害児福祉手当	B	B
	26	子ども医療費の助成	B	B
	27	未熟児養育医療の給付	B	B
	28	ひとり親家庭等の医療費の助成	B	B
	29	保育所保育料負担の適正化	B	B
	30	実費徴収に係る補足給付を行う事業	B	B
	31	特別支援教育就学奨励費補助	B	B
	32	就学援助・奨学金	B	B
	33	入学準備金の貸付	B	B
2 子どもと保護者の健康づくり	★34	妊娠・出産・子育てサポート事業	A	B
	35	母子健康教育	B	B
	★36	乳幼児健康診査	A	B
	37	母子健康相談	B	B
	38	母子訪問指導	B	B
	39	健診後のフォロー体制づくり	B	B
	40	予防接種	A	B
	★41	養育支援訪問事業・産褥期ヘルパーの情報提供	B	B
	42	食に関する講座・体験学習	B	B
	43	食育指導・情報提供	B	B
	44	乳幼児の食生活指導	B	B
	45	栄養相談・栄養指導	B	B
	46	思春期相談体制の充実	B	B
	47	学校保健と地域保健の連携強化	B	B
	48	性と生の教育の充実	D	事業番号69に統合
	49	救急医療体制の充実	B	B
	50	こどもの権利条約・児童憲章の周知・啓発	B	B
	51	指導者の育成	B	B
	★52	相談・カウンセリング	B	B
	53	小・中学生職場体験学習	B	B
	54	保育士研修	B	B
	55	子育て支援員研修	D	B
	★56	幼児教育に関する研究・研修	B	B
	57	心の教育	B	B

基本目標	事業番号	事業名	令和2年度	令和3年度	
3	子どもが健やかに成長できる環境づくり	58	環境教育	B	B
		59	国際社会への対応	B	B
		60	情報化社会への対応	A	B
		★61	特別支援教育	B	B
		62	世代間交流	B	C
		63	体験学習の推進	B	B
		★64	絵本のふれあい体験の支援	B	B
		65	文化・芸術活動の支援	B	B
		66	各種スポーツ・レクリエーション大会・教室	B	B
		67	学童クラブと保育所の交流	B	B
		68	私立幼稚園への支援	B	B
		★69	家庭教育講座	B	B
		70	子育てサロン	B	B
		71	地域子ども活動の支援	B	B
		72	ボランティアの育成・推進	B	B
		73	少年スポーツ団体の育成	B	B
		74	児童館・児童センターの活用	B	B
		75	学校体育施設の利用	B	B
		76	青少年相談	B	B
		77	街頭補導活動	B	B
		78	有害図書等の調査	B	事業番号79に統合
		79	青少年ふれあい運動	B	B
80	青少年主張大会	D	B		
81	非行防止活動等ネットワークづくり	B	B		
82	青少年育成会議への活動支援	B	事業番号71に統合		
4	子どもの安全を守る生活環境・体制づくり	83	歩道の整備	B	B
		84	公共施設の整備	B	B
		★85	公園の整備・充実	B	B
		86	駅施設の整備	B	B
		87	住環境の整備	B	B
		★88	防犯対策の充実	B	B
		89	防犯灯の整備	B	B
		90	通学区域内の交通安全施設整備	B	B
		91	交通安全教室の充実	B	B
		92	チャイルドシートの貸出	B	B
		93	交通安全教室の普及・啓発	B	B
		★94	関係機関、団体との情報交換	B	B
		95	安全マップ等の作成	B	B
		96	自主防犯活動の支援	B	B
		★97	安全管理の促進	B	B
		98	防犯体制の充実	B	B
		99	防犯に関する普及啓発活動	B	B
		100	保護者・地域との連携による防犯活動	B	B
5	男女がともに仕事と子育てを両立できる環境づくり	101	就労環境改善への支援	B	B
		102	就職情報の提供	B	B
		103	就職・再就職のための職業研修	B	B
		104	男女共同参画社会づくり	B	B
		105	育児への父親の参加	B	B
		★106	延長保育	B	B
		107	小規模保育	B	C
		108	一時保育	B	B
		109	産休明け保育	B	B
		★110	病児・病後児保育	B	B
		111	休日保育	B	D
		★112	障害児保育	B	D
		★113	学童クラブの活用	B	B
		114	子育て短期支援（ショートステイ・トワイライトステイ）	B	B

基本目標	事業番号	事業名	令和2年度	令和3年度
6 保護が必要な子どもへの支援体制づくり	★115	子ども家庭支援拠点（支援拠点事業）	B	B
	116	児童虐待防止の啓発	B	B
	★117	虐待予防と早期発見	B	B
	★118	虐待に関する相談の充実	B	B
	★119	児童虐待防止のための連携強化	B	B
	★120	社会的養育の推進	B	B
	121	ひとり親家庭相談	B	B
	122	母子家庭等就労促進費用の助成	B	B
	123	ひとり親家庭等生活向上事業	B	B
	124	相談体制の充実	B	B
	125	就学相談・指導	B	B
	★126	療育指導・機能訓練	B	B
	127	在宅介護サービス	B	B
	128	特別支援教育の推進	B	B
	★129	居宅訪問型児童発達支援	D	D
	130	子どもの貧困対策	B	B

### ■事業評価シートの見方

番号	事業名（担当課）	事業内容・事業目標										① 令和3年度評価	
★9	送迎保育ステーション（保育課）	送迎保育ステーションを利用し、市内の保育所まで送迎することにより、待機児童の解消や保育所利用者の利便性の向上を図ります。										A・B・C・D	
主な活動指標（事業実績）		R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標		R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標
送迎保育ステーションの設置数（か所）		2	2	→	→	→	延べ利用数（人）		13,546	20,000	→	→	→
送迎バスの台数		8	8	→	→	→	待機児童数※翌年度4月1日時点（人）		3	0	0	0	0
R3年度の現状	保育園の開設やコロナの影響で令和2年度よりは増加したものの利用人数は低調でした。						課題解決のための改善策	引き続き感染症対策を徹底して行います。					
これまでの課題	新型コロナウイルス感染症対策及び対象園が増えているため速やかな送迎を行うことが課題です。						R5からR6年度の取り組み	新園の開設等による需要の低下を踏まえ事業の継続について検討します。					

#### ①評価区分

A：B評価＋成果を向上させる改善・改良を施した（90～100%）

B：達成出来た（80～89%）←通常どおり事業を遂行した場合

C：一部達成出来た（一部達成出来なかった）（80%未満）

D：達成出来なかった（未実施・廃止・統合など）

※新型コロナウイルス感染症の影響により、事業内容を変更して実施した場合は、B評価（通常どおり事業を遂行した場合）に該当します。

【例】対面でのイベント実施を取り止め、オンラインを活用し実施した

#### ②活動指標・成果指標

数値目標の設定になじまない、設定できない事業は指標を矢印（↑（上昇）、↓（下降）、→（現状維持））としています。

基本目標1 子育てを支援する地域づくり													
(1)情報提供・相談体制の充実													
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標						令和3年度評価					
★1	子育て及び家庭教育情報の提供 (子ども家庭課・生涯学習課・公民館)	<p>【子ども家庭課】子育てに関する各種情報・講座・教室の案内等の情報を、広報や情報誌、ホームページ等での確に提供しよう努めます。(流山市市民便利帳(日本語・外国語)・ママフレ・児童館・児童センター活動パンフレット)</p> <p>【生涯学習課】子ども・親子向けイベントを含む各種講座・教室の案内等の情報を、広報や情報誌、ホームページ等での確に提供しよう努めます。</p> <p>【公民館】若い親が情報ツールとすることが多い、携帯電話のインターネット機能を駆使した情報発信などを視野に、さまざまなメディアを使って、よりの確かつ迅速に子育て情報を提供します。</p>						A・B・C・D					
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標		R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標
R3年度の現状							課題解決のための改善策						
R3年度の現状		R3年度からは、LINE公式アカウント「ながれやま子育てちゃんねる」を開設し、また、従来からのママフレや子育てサイトのホームページ等も活用しながら、子育てに関する各種情報の提供を行いました。【子ども家庭課】新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、事前申込制にして定員を減らし実施したため、参加をお断りすることもありました。公民館の子育てサロンやセミナー、コンサート等、広報ながれやまや市HPに掲載しました。イベント時に市ツイッターや地域のコミュニティ情報誌を活用し広報活動しました。【公民館】生涯学習課及び生涯学習センターが開催する「子ども・親子向けイベント」の情報を、広報ながれやま及び市ホームページに掲載し、広く市民に周知しました。また、市主催以外のイベント等についても、チラシ配架やポスター掲示を随時行いました。【生涯学習課】						LINE公式アカウント「ながれやま子育てちゃんねる」の登録者数を増やすために、窓口での案内等の強化に努めます。また、他課にも再度、LINEの周知をはかり、利用を促していきます。【子ども家庭課】引き続き確な情報提供に努めます。また、感染症対策でチラシの配布があまり出来なかったため、若い親が情報ツールとすることが多いインターネットを利用した情報発信など、よりの確かつ迅速に子育て情報を提供します。【公民館】引き続き、広く市民に情報提供します。【生涯学習課】					
これまでの課題		LINE公式アカウント「ながれやま子育てちゃんねる」の登録者数を増やしていくことと、子ども家庭課だけの情報ではなく、他課も含め、子育てに関する情報発信等を行っていく必要があります。【子ども家庭課】新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、事前申込制にして定員を減らし実施したため、参加をお断りすることもありました。【公民館】				R5からR6年度の取り組み		LINEやホームページ等の情報発信ツールを活用し、必要な方へ確な情報提供に努めます。【子ども家庭課】新型コロナウイルス感染症の拡大防止に努めつつ、サロンや講座等の開催回数の増加に努めます。【公民館】「子ども・親子向けイベント」の開催情報を、広報ながれやま及び市ホームページに掲載し、広く市民に情報提供します。【生涯学習課】					
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標						令和3年度評価					
★2	子育て支援総合窓口事業 (子ども家庭課)	子どもや保護者が幼稚園や保育所、認定こども園等の施設や地域の子育て支援事業を円滑に利用できるように、情報の収集・提供を行い、必要に応じて相談・助言をすることも、関係機関との連絡調整を行います。						A・B・C・D					
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標		R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標
相談対応件数(延べ)		1,596	↑	↑	↑	↑							
R3年度の現状		窓口や電話相談だけでなく、オンライン相談を活用し、子どもや保護者が状況に応じた幼稚園・保育園等の施設や地域の子育て支援事業を円滑に利用できるよう、情報の収集や提供、助言を行いました。また、相談内容によっては、関係機関と連絡調整し、適切な支援部署・機関につなぎました。				課題解決のための改善策		おやおあんしん相談窓口について、LINEやホームページ等を活用し、周知をはかっています。					
これまでの課題		おやおあんしん相談窓口について、転入者等を含め、窓口の案内を周知する必要があります。				R5からR6年度の取り組み		引き続き、窓口や電話相談だけでなく、オンライン相談を活用し、子どもや保護者が状況に応じた幼稚園・保育園等の施設や地域の子育て支援事業を円滑に利用できるよう、情報の収集や提供、助言を行います。また、関係機関と連絡調整し、適切な支援部署・機関につなぎます。					
(2)地域における子育て支援サービスの充実													
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標						令和3年度評価					
3	子育てガイドブックの発行 (子ども家庭課)	子育てに関する様々な情報を提供し、子育て家庭を支援するため、「子育てガイドブック」を発行します。また、「孫育てガイドブック」を発行し、祖父母世代にパパ・ママ世代の子育てについて理解を深めてもらえる機会の創出を図ります。						A・B・C・D					
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標		R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標
ガイドブック配布数		7,495	↑	↑	↑	↑							
R3年度の現状		子育てに関する様々な情報を提供するため、転入者等に、流山市の地図と一緒に「子育てガイドブック」を配布しました。また、祖父母世代の方に、「孫育てガイドブック」を配布しています。令和3年度は、更新時期であるため、「子育てガイドブック」及び「孫育てガイドブック」を更新しました。				課題解決のための改善策		「子育てガイドブック」及び「孫育てガイドブック」について、LINEやホームページ等を活用し、周知を図っていきます。					
これまでの課題		転入者等を含め、子育て情報を必要とする方に配布する必要があります。				R5からR6年度の取り組み		「子育てガイドブック」及び「孫育てガイドブック」を、子育て支援センターや子育て支援員研修の受講生などに広く配布することで、子育てや孫育てに関する情報の提供に努めます。					

番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標	令和3年度評価									
4	各種相談(子ども家庭課・公民館・指導課・児童発達支援センター)	<p>【子ども家庭課】児童虐待に関する相談を通じて、関係機関と連携を図りながらその防止に努めます。</p> <p>【公民館】子育てママのニーズを的確にとらえた子育てママのセミナー開催やコミュニティ形成ができるセミナーを実施します。</p> <p>【指導課】スクールカウンセラーを配置し、電話相談や面談、学校訪問による保護者や児童生徒、教職員の相談体制の充実に努めます。</p> <p>【児童発達支援センター】障害の早期発見、早期支援に努めるため、療育相談事業を継続します。乳幼児の発達に関する保護者の心配に応じて、相談員や専門職(心理士、言語聴覚士、作業療法士など)が電話や来所による相談面談、専門職による検査や助言を行います。</p>	A・B・C・D									
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標	R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標
子ども発達相談の申し込みから面接日までの平均日数【児童発達支援センター】		45.4	25	30	→	→	子ども発達相談(延べ相談件数)【児童発達支援センター】	1,057	901	1,050	→	→
子育てママのセミナー実施回数【公民館】		18	18	18	18	18	延べ参加者数【公民館】	177	→	→	↑	↑
スクールカウンセラー配置数【指導課】		9	9	10	↑	↑	教育相談件数【指導課】	2,034	→	→	→	→
R3年度の現状	児童虐待に関する相談に適切に対応できるよう相談対応職員のスキルアップを図ると共に、状況に応じてより専門的な機関と連携し対応しました。【子ども家庭課】令和2年度同様、新型コロナウイルス感染症により、会場の収容人数の半分を定員とし、各公民館で月に3回子育てママのセミナーを実施しました。【公民館】児童生徒、保護者が抱える悩みに対して、スクールカウンセラーによる教育相談を、電話相談、来所相談、学校への訪問相談の形式で実施しました。【指導課】相談ニーズが増加する中、希望の方へは、検査結果を画面でお返しし、電話でフォローアップすることで来談回数の短縮を図り、新規相談者の受け入れ枠の増加に努めてきました。また、新規相談者が電話で申込をする際、来談までに申請できること、ご家庭での対応方法など、先の見通しをお伝えしました。電車、バスを乗り継いで来所することが負担な方においては、おおたかの森駅近くの業務委託先の会場を案内し、来所時の負担を軽減できるようにしました。【児童発達支援センター】	課題解決のための改善策		相談対応職員の専門性の向上に努め、児童や家庭の状況に即した相談対応を行います。【子ども家庭課】引き続き的確な情報提供に努めると同時に、申込人数が少ない場所には、子ども家庭課で行っているLINE公式アカウント「ながれやま子育てちゃんねる」にて周知を行います。【公民館】学校や保護者と連携を図りながら、児童生徒の学校や家庭での様子を共有し教育相談を実施します。また主訴に応じて関係機関とも連携を図っていきます。【指導課】相談者のニーズに早期に対応できるよう、来談予約までの期間に相談者が準備・対処できる内容においては、電話で案内しております。引き続き業務委託先と連携を図りながら様々なニーズに対応して相談を実施していきます。【児童発達支援センター】								
これまでの課題	児童や保護者の家庭背景や課題が複雑多岐にわたるため、個々の状況に即した相談対応が必要となっています。【子ども家庭課】開催場所によっては、申込数が少ないのが課題です。【公民館】定期的にカウンセリングにつなげることで、主訴の解消に努めることができました。相談内容が多岐にわたり、より児童生徒の実態に応じたカウンセリングが求められています。【指導課】新規相談の申込から初回面接までに約45日を要する課題は依然として残るものの、申込書作成後も時間をかけて提出を悩まれる方、お仕事の都合を合わせながら先の日程の予約を希望される方もおり、保護者の気持ちや希望に寄り添った上での予約対応をした実績でもあったと分析しております。【児童発達支援センター】	R5からR6年度の取り組み		児童虐待防止のため、個別の相談対応だけでなく、グループ活動を通じた相談支援活動を実施します。【子ども家庭課】新型コロナウイルス感染症の拡大防止に努めつつ、対象者に広く情報提供を行っていきます。【公民館】児童生徒や保護者、学校の教職員が気軽に相談できるように、相談機関を周知していきます。また学校での教育相談が充実するよう、研修を充実させていきます。【指導課】地域における中核的な療育支援施設の役割・機能として相談業務を継続しながら、令和3年度まで感染症対策で実施を見合わせていた事業や支援についてポストコロナの事業・支援の在り方を構築していきます。【児童発達支援センター】								
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標	令和3年度評価									
5	地域子育て相談(子ども家庭課・保育課)	<p>【子ども家庭課】研修を通して各地域子育て支援センターの相談体制の充実に努めます。</p> <p>【保育課】園開放を行うことで、より身近な相談場所としての機能を果たすことができ、保護者の子育ての不安解消につながることから事業を継続していきます。</p>	A・B・C・D									
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標	R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標
R3年度の現状		子育ての悩みなどを気軽に相談できるよう、地域子育て支援センターを核として相談体制を図れるよう、地域子育て支援センターの研修を行いました。また、担当職員の自己評価やLINE等による利用者アンケートを実施しました。【子ども家庭課】新型コロナウイルス感染症により園開放を実施することが出来ませんでした。【保育課】		課題解決のための改善策		子育て支援センター職員の質の向上のため、市主催で研修を年3回開催したり、アンケート等を実施して、子育て支援センター全体の質が下がらないようにします。【子ども家庭課】						
これまでの課題		子育てセンターに従事する職員の異動等もあるため、職員の質が下がらないようにする必要があります。【子ども家庭課】		R5からR6年度の取り組み		引き続き、研修やアンケート等を通して地域子育て支援センターにおける子育て相談体制の充実に努め、保護者の育児に関する不安の軽減に努めます。【子ども家庭課】新型コロナウイルス感染症の感染状況を見ながら人数を制限するなどして、実施の可否について検討していきます。【保育課】						

番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標	令和3年度評価									
6	各種相談の連携(子ども家庭課・児童発達支援センター・健康増進課・保育課・教育総務課)	<p>【子ども家庭課】各種相談窓口をはじめ、保健所、児童相談所、民生・児童委員、学校や保育所、学童クラブなど関係機関等との連携の強化を図ります。また、関係機関によるケース検討会議を開催します。</p> <p>【児童発達支援センター】平成27年4月から運営する児童発達支援センターにおいて、関係機関等との協力により児童の支援方針を決定するなど、今後も障害児及びその保護者からの相談を継続します。発達に心配のあるお子さんや保護者に対し、お子さんのよりよい支援につなげられるよう療育支援会議をはじめ各種会議等とおし、保健センター、保育所、幼児教育支援センター、教育委員会、児童館、医療機関などの関係機関と連携を図ります。</p> <p>【健康増進課】各種相談窓口と松戸健康福祉センター(保健所)、児童相談所、民生・児童委員、地域子育て支援センターや保育所、学童クラブなど関係機関等との連携の強化を図ります。また、関係機関によるケース検討会議を開催します。 ・ケース検討部会(定例部会、臨時検討会議)</p> <p>【保育課】公立保育所所長会議、民間保育所協議会等を活用して、情報を共有し、緊急時に速やかに対応できるよう関係機関との連携を強化します。</p> <p>【教育総務課】学童クラブ運営法人連絡協議会及び小学校・学童クラブ・教育総務課で開催する学童クラブに関する三者協議を活用して情報を共有し、児童の健全な育成が図られるよう関係機関との連携を強化します。</p>	A・B・C・D									
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標	R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標
療育支援会議(年間回数) 【児童発達支援センター】		24	24	24	→	→	療育支援方針(年間件数) 【児童発達支援センター】	320	227	330	→	→
検討会回数 【健康増進課】		11	12	12	12	12	関係課との連携強化 【健康増進課】	↑	↑	↑	↑	↑
三者協議開催回数【教育総務課】		34	34	34	34	34						
R3年度の現状	関係機関との個別支援会議(要保護児童対策地域協議会)を60回開催しました。【子ども家庭課】療育支援会議をはじめ各種会議等とおし、関係機関から情報を得ながらお子さんの発達状況について確認、支援について検討をしていきました。【児童発達支援センター】必要に応じ、ケース会議に参加しました。子ども家庭課と検討会は、コロナウイルス感染症拡大予防のため、1月と2月は書面開催となった。その他の月は感染症対策を講じながら会議を実施しました。【健康増進課】公立保育所所長会議や民間保育所協議会等において情報共有を図りました。【保育課】学童クラブ運営法人連絡協議会を年6回開催しました。学童クラブに関する三者協議を、小学校区ごとに年2回開催しました。【教育総務課】	課題解決のための改善策		関係機関の会議等に積極的に参加し、要保護児童対策地域協議会の活動の周知を図り、関係機関との連携を強化します。【子ども家庭課】今年度より業務委託先の担当職員も療育支援会議に参加することでより多角的な意見・情報を得ることができ、他部署との情報交流により地域資源を確認することで、手厚いケースワークに繋がっていきます。【児童発達支援センター】必要な時に必要な機関と連携が取れるように、日頃から連携が取れる関係づくりの体制構築に努めました。また、緊急時には、電話連絡で情報共有や、役割分担を確認し、支援を連携して実施できるよう工夫しました。【健康増進課】学童クラブごとに抱える問題は様々であり、教育総務課、学校、法人で問題について共有し、課題解決のための話し合いの場を持つことが重要です。【教育総務課】								
これまでの課題	要保護児童対策地域協議会の機能や役割に関する周知が不十分で、関係機関との連携に時間を要するケースがあります。【子ども家庭課】新規相談者が増加している中、相談ニーズも多岐にわたり、療育支援会議などの共有の機会において、他機関と連携して支援を検討する比重が、全体のケースの中で増加しています。【児童発達支援センター】コロナウイルス感染症拡大予防のため、対面での検討会が実施できない月がありました。【健康増進課】学童クラブの利用者が増加しており、学童クラブの施設整備や学童クラブを運営するための様々な課題を抱えています。【教育総務課】	R5からR6年度の取り組み		各部署の相談窓口、児童相談所、警察、学校等関係機関との連携の強化を図ります。また、要保護児童対策地域協議会の機能や役割の周知に努めます。【子ども家庭課】引き続き、関係機関からの多角的な意見を基に、お子さんの発達によりよい支援方針の決定に努めます。【児童発達支援センター】令和5年3月より南流山センターに子育てなんでも相談室を開設予定です。より身近な地域で支援を実施できるよう、引き続き関係機関との連携強化に努めます。【健康増進課】引き続き公立保育所所長会議や民間保育所協議会等において情報共有をはかり、保育における課題を共通認識できるようにします。【保育課】引き続き、学童クラブ運営法人連絡協議会や学童クラブに関する三者協議を実施するほか、情報を各課と共有し、緊急時に速やかな対応が出来るよう連携強化に努めます。【教育総務課】								
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標	令和3年度評価									
7	相談担当職員の充実及び適正配置(子ども家庭課・児童発達支援センター・健康増進課)	<p>【子ども家庭課】相談担当職員のスキルアップを図るため、研修会等に積極的に参加していきます。また、担当職員の適正配置についても相談件数の増加を加味し、検討していきます。</p> <p>【児童発達支援センター】医師などの専門家による療育相談を行い、相談支援専門職員によりサービス利用計画等を作成し、事業を実施していきます。障害児相談支援を利用希望している方の受け入れができるよう、適正配置に努めます。</p> <p>【健康増進課】保護者の子育て相談に的確に対応できるよう、相談担当職員(常勤職員だけでなく、非常勤職員も含め)の知識・能力の向上を図るとともに、職員の適正配置に努めます。</p>	A・B・C・D									
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標	R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標
相談支援従事者初任者研修修了者数 【児童発達支援センター】		2	2	1	→	→						
養育支援家庭訪問事業等研修会開催数 【健康増進課】		1	1	1	1	1	養育支援家庭訪問事業等研修会参加人数 【健康増進課】	26	↑	30	→	→
R3年度の現状	県等が主催する研修に積極的に参加しスキルアップを図ると共に、心理セサメントや心理的側面からのケアが実施できるよう心理士(会計年度任用職員)を増員しました。【子ども家庭課】療育を利用するお子さんが増加していることで、障害児相談支援を利用希望する方も増加しています。【児童発達支援センター】各事業終了後にカンファレンスを行い、情報共有と対象者の支援検討を行いました。また、職員及び非常勤職員等を対象とした子育て支援に関する研修会を企画開催しています。【健康増進課】	課題解決のための改善策		増加する相談に迅速かつ適正に対応できるよう専門職の更なる増員配置に努めます。【子ども家庭課】相談支援専門職員を1名増員したことで、利用希望の方へサービスが行き届くようにしています。また、引き続き、利用者のニーズに応えられるよう対象職員が相談支援従事者初任者研修やより専門的な研修等に参加していきます。【児童発達支援センター】公認心理士のアドバイスを受けながら振り返りを行う事例検討や様々な研修を通して、日ごろの支援の振り返りと最新の情報の更新や相談技術の向上に努めます。【健康増進課】								
これまでの課題	児童虐待を含む相談件数が毎年増加しており、ケースワーカー1人当たりの相談対応件数が増加しています。【子ども家庭課】職員一人当たり月毎に受け入れ件数に上限があるため、すぐ受け入れできないこともあり、また、利用者ニーズに応えられるために、相談支援専門職員の増員や、職員のスキルアップとして、医療的ケア児コーディネーター養成研修を受講し、より専門的な知識を基に相談にかかわるよう努めます。【児童発達支援センター】転入数の増加や、出生数の増加等により、相談件数が増加しているとともに、様々な背景や複雑な問題を抱える支援が必要なケースも増え、保護者からの相談内容も多様となり、様々な相談内容に対応できる知識とスキルが必要となってきています。【健康増進課】	R5からR6年度の取り組み		相談担当職員のスキルアップを図るため、研修会等に積極的に参加していきます。また、専門職を含む相談担当職員の適正配置についても検討していきます。【子ども家庭課】地域における中核的な療育支援施設としての役割・機能を担うよう引き続き相談業務の充実を図ります。【児童発達支援センター】引き続き、現在のトピックスや様々な相談内容に対応した研修を企画・開催していきます。【健康増進課】								

(2)地域における子育て支援サービスの充実														
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和3年度評価		
★8	保育所 (子ども家庭課・保育課)	待機児童数ゼロを達成するため、認可保育所等を整備します。										A・B・C・D		
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標			R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標
認可保育所等整備数(定員数(3.31時点))		7,692	8,284	—	—	—	待機児童数※翌年度4月1日時点(人)			3	0	0	0	0
認可保育所等施設数(3.31時点)		100	↑	—	—	—								
R3年度の現状	認可保育所整備の公募を実施し、流山おおたかの森地区を中心に740名の定員増を図りました。					課題解決のための改善策		整備計画に基づき、待機児童の解消に向けた保育の受け皿確保を進めます。認可保育所整備の公募の実施に際して、多様な保育ニーズに対応可能な保育施設の募集を行います。						
これまでの課題	待機児童ゼロを実現できませんでした。また、多様な保育ニーズに対応するべく、一般的な保育のみならず、子育て相談や一時預かり、延長保育など、バリエーションを持たせた保育施設の整備を引き続き進めていく必要があります。					R5からR6年度の取り組み		就学前児童数の増加による需要プラスの要因や、保護者の育児休業の取得の促進および新型コロナウイルス感染症拡大の影響による需要のマイナスにより、保育需要が変化しています。これらの要因を勘案したうえで認可保育所等の整備を行います。						
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和3年度評価		
★9	送迎保育ステーション (保育課)	送迎保育ステーションを利用し、市内の保育所まで送迎することにより、待機児童の解消や保育所利用者の利便性の向上を図ります。										A・B・C・D		
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標			R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標
送迎保育ステーションの設置数(か所)		2	2	→	→	→	延べ利用数(人)			13,546	20,000	→	→	→
送迎バスの台数		8	8	→	→	→	待機児童数※翌年度4月1日時点(人)			3	0	0	0	0
R3年度の現状	保育園の開設やコロナの影響で令和2年度よりは増加したものの利用人数は低調でした。					課題解決のための改善策		引き続き感染症対策を徹底して行います。						
これまでの課題	新型コロナウイルス感染症対策及び対象園が増えているため速やかな送迎を行うことが課題です。					R5からR6年度の取り組み		新園の開設等による需要の低下を踏まえ事業の継続について検討します。						
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和3年度評価		
★10	地域子育て支援センター (子ども家庭課)	職員の資質向上を図り、子育てに関する相談、情報の提供、子育てグループの支援や各種サービスの提供など、子育て世帯へのサポートを充実していきます。										A・B・C・D		
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標			R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標
子育て支援センター数		11	16	11	11	11	利用者数			34,770	57,824	↑	↑	↑
R3年度の現状	令和3年度は、子育て支援センター数の減少や、新型コロナウイルス感染症の影響により、目標数には到達していませんが、子育て支援センターが、独自に、公園出張を行うなど、新たな取り組みを構築し、子育て世帯へのサポートを行いました。また、担当職員の自己評価やLINE等による利用者アンケートを実施しました。					課題解決のための改善策		子育て支援センター職員の質の向上のため、市主催で研修を年3回開催し、子育て支援センター全体の質が下がらないようにします。						
これまでの課題	子育てセンターに従事する職員の異動等もあるため、職員の質が下がらないようにする必要があります。					R5からR6年度の取り組み		新型コロナウイルス感染症の影響により昨年は、現地調査が出来なかったが、機会を捉えて、現地調査を行います。また、担当職員の自己評価やLINE等による利用者アンケートも実施します。						
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和3年度評価		
11	保育所の多機能化(保育課)	身近な場所で子育てに関する相談や育児講座、子育て中の親の交流などを行う拠点として、園開放の実施等、保育所等の多機能化を推進します。										A・B・C・D		
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標			R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標
R3年度の現状	新型コロナウイルス感染症により園開放を実施することが出来ませんでした。					課題解決のための改善策								
これまでの課題						R5からR6年度の取り組み		新型コロナウイルス感染症の感染状況を見ながら人数を制限するなどして、実施の可否について検討していきます。						

番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和3年度評価				
★12	幼保一元化(子ども家庭課・指導課)	【子ども家庭課】教育と保育の両方のニーズに対応できるよう、今後も認定こども園の整備を進めます。 【指導課】幼児教育支援センターにおいて、今後も国の動向を見ながら、幼保小関連教育の研究を進めています。										A・B・C・D				
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標				R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	
保幼小関連教育研究会開催回数		3	3	3	3	3	保幼小関連教育研究会参加延べ人数				214	210	215	215	215	
R3年度の現状	「幼児教育を小学校教育につなぐ」をテーマに、年間3回の研究会を実施しました。接続期のカリキュラムについて大学教授から学んだり、接続期の取り組みについてグループ協議をしたりして、研究を深めることができました。【指導課】					課題解決のための改善策		気になる子どもの見立て方やわかり方について研究を深めるとともに、幼保小の情報交換や引継ぎ、療育施設等関係機関とも連携を図り、一人一人のニーズに応じた切れ目のない支援体制づくりを構築を目指します。【指導課】								
これまでの課題	5歳児に、生活・学習の基盤を保障できるよう今後も接続期の取り組みについて研究を深めるとともに、保幼小連携で一人一人の発達を把握し、早期支援につなげていきたいと思えます。【指導課】					R5からR6年度の取り組み		幼児や児童生徒が年々増加しており、今後さらに保幼小の連携が必要になってきます。より多くの先生方と連携を深め、幼児教育の目的に応じた指導や接続期における取組について研究・研修を進めています。【指導課】								
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和3年度評価				
13	多様な主体が本制度に参入することを促進するための事業(子ども家庭課)	特定教育・保育施設等への民間事業者の参入、多様な事業者の能力を活用した設置・運営を促します。										A・B・C・D				
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標				R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	
民間事業者による認可保育所整備数		4	→	→	→	→										
民間事業者による小規模保育事業所整備数		1	→	→	→	→										
R3年度の現状	幅広く保育事業者の参入を促すため、認可保育所および小規模保育事業所の整備にあたり公募を実施しました。また、国の補助金制度を活用し保育施設の整備費に対する補助を行うことにより、多くの事業者が参入できる環境づくりを行いました。					課題解決のための改善策		市内の保育需要の状況を注視しながら、多様な事業者が参入できる環境づくりを行います。								
これまでの課題	保育施設の整備数は減少傾向であることに伴い、多様な事業者が参入できる環境が限られています。					R5からR6年度の取り組み		多様な事業者が参入できる環境づくりを行い、能力を活用した設置・運営を促します。								
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和3年度評価				
★14	児童館・児童センター(子ども家庭課)	おおたかの森地域及び南流山地域において、児童センターを新たに整備します。 市内児童館・児童センターにおいて、地域の子育て活動の拠点施設となるような保護者・乳幼児の子育てサポートのための事業を実施します。										A・B・C・D				
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標				R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	
(仮称)南流山地域図書館・児童センター整備工事進捗率(%)		67	66.7	100	—	—	市内7施設利用者アンケート(%) 「施設を利用することで子育てを支えられていると感じる:あてはまる・だいたいあてはまる」平均				98.5	↑	↑	↑	↑	
R3年度の現状	既存児童館・児童センターでは、新型コロナウイルス感染症拡大に係る一時休館があったものの、幼児のグループ活動によるお友達を伴ったサポートや子育ての相談に組み込み、学童には、ボールあそびや卓球、大型ブロック、マンカマ、カードゲーム、読書など多様な遊びの場を提供しました。また、休館中もオンラインで児童館の取り組みを紹介したり、いつでも利用者のそばにあり続ける活動にも注力しました。(仮称)南流山地域図書館・児童センター整備では、躯体工事に着手し、令和4年度開設に向け工事を進めています。					課題解決のための改善策		既存児童館・児童センターにおける各種イベント等の再開に向け、参加方法や活動時の参加者の動きなどの検討を重ね対応していきます。(仮称)南流山地域図書館・児童センター整備の工事では、市、工事会社、学校と三者で連絡を密にし、学校活動や近隣住民の方々の生活に支障が生じない、あるいは最小限に留められるよう計画を進めます。								
これまでの課題	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、開催が難しかった各種イベント等について再開が適うよう検討を進める必要があります。(仮称)南流山地域図書館・児童センター整備の工事では、学校活動や近隣住民の方々の生活に支障が生じないよう、あるいは最小限に留められるよう最大限配慮する必要があります。					R5からR6年度の取り組み		既存児童館・児童センターでは、スタッフ、利用者が一体となり、手指消毒や検温、施設内換気を徹底し、安心、安全な施設利用を進めます。また、子どもに楽しく利用してもらえ、もちろんのこと、子ども自身が安心して自分の気持ちを話せるような居場所となるよう引き続き運営していきます。								
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和3年度評価				
★15	学童クラブ施設(教育総務課)	放課後の留守家庭の児童の健全な育成を図るため、学童クラブの充実を図ります。学童需要が大幅に増加する中で、安全な育成支援が提供できる環境を整備していきます。										A・B・C・D				
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標				R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	
整備後の定員数(人)		3,240	3,240	3,240	3,680	3,680	待機児童数(3月末)(人)				0	0	0	0	0	
整備後の施設数(施設)		37	37	37	39	39										
R3年度の現状	令和3年度の小山小学校区に新たに第5おおたかの森ルームの整備を行いました。その結果、同学区の定員は210名でしたが、160名の増加により定員は370名となりました。					課題解決のための改善策		利用児童数数の増加が予想される地区等において、児童数の推計をもとにあらかじめ学童クラブを整備することで、待機児童が出ないようにします。								
これまでの課題	学童クラブの利用児童数が増える中で、待機児童が発生しないよう学童クラブの整備を行う必要があります。					R5からR6年度の取り組み		令和6年度に新たに開校予定である南流山第二小学校(仮称)と市野谷小学校(仮称)に学童クラブを整備していきます。								

番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和3年度評価				
16	夏休みの学校開放による「夏休み子ども教室」事業(公民館)	学校の夏休み期間、保護者が就労等で家を留守にする家庭の小学生に対して、学校施設の一部を使用し、夏休みの子どもの居場所として提供します。										A⊙B・C・D				
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標				R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	
開催回数		26	26	26	—	—	延べ参加者数				1,777	→	↑	—	—	
R3年度の現状	令和3年度は、2校で開催し、さらに夏休み子ども教室の参加費を事前に徴収する事になりました。						課題解決のための改善策		スタッフの人員募集は広く募集し、確保に努めます。							
これまでの課題	スタッフ人員の確保と、学校施設開放の教室等の増加が可能かが課題となります。						R5からR6年度の取り組み		この事業を終了し中央公民館で夏休みの生涯学習事業の充実に努めます。							
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和3年度評価				
★17	療育施設(児童発達支援センター)	障害のある児童の自立支援のため、児童発達支援センターの充実を図ります。										A⊙B・C・D				
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標				R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	
つばさ学園 実人数		33	37	35	↑	↑	つばさ学園 延べ利用人数				3,676	3,960	4,200	↑	↑	
児童デイつばさ 実人数		57	54	55	↑	↑	児童デイつばさ 延べ利用人数				2,111	1,848	2,656	↑	↑	
R3年度の現状	発達支援計画書及び個別支援計画書に基づき園児の支援に努めました。行事について、感染予防のため保護者の参加は見合わせましたが、内容について昨年度の実績をもとに工夫を加えて実施することができました。昨年度中止した保護者への説明会、学習会等について、感染症対策を講じながら一部実施することができました。						課題解決のための改善策		コロナ禍の制限ある中でもできること(園児への支援、保護者との連携等について)、また園児の発達、成長に必要なことを職員間で検討していきます。							
これまでの課題	新型コロナウイルス感染症対策を講じながら児の成長につながる支援(教材の使用法や過密状態の予防を含めた)について検討していく必要があります。保護者の行事への参加や園児の活動の様子を見る機会が制限されています。このため保護者と連携しながら園児への支援を進めていくにはこれまで以上の連携方法を工夫していく必要があります。						R5からR6年度の取り組み		新型コロナウイルス感染症対策を講じながら園児の健康を第一に、園児の発達、成長に必要な支援の充実を図っていきます。							
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和3年度評価				
18	市主催事業における託児サービス(公民館・子ども家庭課)	【公民館】安全な託児を心がけ、子育て中の保護者が安心して講座へ参加できるよう努めます。 【子ども家庭課】乳幼児がいる親が、各種講座等、市の主催する事業へ参加できるよう、開催場所において、一時保育等の託児サービスを推進します。										A⊙B・C・D				
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標				R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	
保育ボランティア派遣件数【子ども家庭課】		12	↑	↑	↑	↑										
実施回数【公民館】		1	↑	↑	↑	↑	保育利用乳児数【公民館】				3	↑	↑	↑	↑	
R3年度の現状	保育ボランティアの派遣を通して、市の主催事業への参加を支援しました。また、保育ボランティアの研修を実施しました。【子ども家庭課】令和2年度は新型コロナウイルス感染症対策により、一時保育を必要とする事業が実施出来なかったが、令和3年度は家庭教育講座にて1回実施しました。【公民館】						課題解決のための改善策		保育ボランティアの質の向上のため、研修を開催したり、情報共有等を行います。【子ども家庭課】新型コロナウイルス感染症の対策を行いつつ、一時保育を必要としている人が気軽に参加できるようにします。【公民館】							
これまでの課題	安心して講座へ参加できるようにするため、保育ボランティアの質を向上する必要があります。【子ども家庭課】新型コロナウイルス感染症対策として、一時保育を実施する事が出来なかった事です。【公民館】						R5からR6年度の取り組み		引き続き、市の主催する各種講座に、どなたでも参加しやすくするように、開催場所において、一時保育等の託児サービスを推進します。【子ども家庭課】令和5年度から令和6年度も、新型コロナウイルス感染症の対策を行いつつ、一時保育利用者が気軽に参加出来るよう取り組みます。【公民館】							
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和3年度評価				
19	赤ちゃんほっとスペース(子ども家庭課)	安心して赤ちゃんを外出できるよう、オムツ替えや授乳等が気軽にできる場所(施設)を提供するため、保育所や児童館・児童センターなどの公共施設を中心に「赤ちゃんほっとスペース」を設置します。また、「赤ちゃんほっとスペース」以外の施設でも子ども連れの親に配慮した施設整備を進めます。										A⊙B・C・D				
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標				R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	
赤ちゃんほっとスペース設置数		65	↑	↑	↑	↑										
R3年度の現状	新たな赤ちゃんほっとスペースとして、おたかの森地区に1施設登録しました。						課題解決のための改善策		新規施設が開設する際には、赤ちゃんほっとスペースの設置に向けて働きかけを行います。利用促進を図るため、更なる周知を行います。							
これまでの課題	登録施設の拡充のほか、赤ちゃんほっとスペースの利用促進を図るため更なる周知を行う必要があります。						R5からR6年度の取り組み		外出する親子にやさしい街となるよう引き続き、新たな赤ちゃんほっとスペースの設置を進めていきます。							

(3)子育て支援のネットワークづくり														
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標									令和3年度評価			
★20	ファミリー・サポート・センター(子ども家庭課)	仕事と育児の両立のため、育児を必要とする市民が育児を提供できる市民から、子育て支援を受けられるファミリー・サポート・センター事業を推進します。									A・B・C・D			
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標			R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標
提供会員数及び両方会員数		2,253	↑	↑	↑	↑	マッチング件数			277	↑	↑	↑	↑
活動状況数		7,579	7,164	↑	↑	↑								
R3年度の現状	令和3年度は、目標値よりも利用者数が増加しており、また、マッチング件数も増加しました。活動説明会は、12回予定のうち、12回を実施し、基礎研修会も予定通り4回実施しました。また、会員獲得のための紹介動画を作成して、ホームページに掲載したり、市民活動フェスタに参加しました。さらに、妊婦検診時にファミサポを知ってもらうために、保健センターから「相互援助の手引き」を妊婦さんに配布してもらいました。					課題解決のための改善策		ファミリー・サポート・センターの会員登録手続きを拡充し、郵送でも手続きができるようにしました。提供会員になった後のフォローアップとして、提供会員向けLINEも運用しました。また、利用の対象年齢を6ヶ月からを「原則」6ヶ月からとし、必要と認められた場合援助を行うことにしました。						
これまでの課題	利用会員数が増えているため、提供会員を増やす必要があります。また、利用会員が利用しやすい運用とする必要があります。					R5からR6年度の取り組み		「子育て支援サポーター募集中」の提供会員募集ポスターを作成し公的機関に掲示することや利用会員から両方会員へ促すために、ファミサポ通信で両方会員特集を組むこと、千葉県生涯学習大学のシニア向け講座(年間7回)の中で、ファミサポの動画紹介とチラシ配布、子ども家庭課主催の支援員研修でチラシを配布するなど、引き続き、ファミリー・サポート・センターの提供会員を獲得するために、周知に努めます。						
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標									令和3年度評価			
21	子育てグループの支援(子ども家庭課)	地域子育て支援センターや児童館、児童センターなどを活用し、乳幼児グループの活動を支援し、親同士の交流を促進します。また、子育て支援に関心のある方々のネットワークづくりを支援します。									A・B・C・D			
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標			R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標
幼児グループの参加人数		4,515	↑	↑	↑	↑								
R3年度の現状	地域子育て支援センターや児童館、児童センターの幼児グループの活動をサポートし、親同士の交流を深めることができました。					課題解決のための改善策		地域子育て支援センターや児童館、児童センターの幼児グループ活動について、LINEやホームページ等を活用し、周知をはかっています。						
これまでの課題	地域子育て支援センターや児童館、児童センターの幼児グループ活動の参加者を増やす必要があります。					R5からR6年度の取り組み		今後も、乳幼児グループの活動を支援し、親同士の交流を促進します。また、子育て支援に関心のある方々のネットワークづくりを支援します。						
(4)経済的支援の充実														
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標									令和3年度評価			
22	児童扶養手当(子ども家庭課)	父母の離婚等により、父又は母と生計を同じくしていない18歳までの児童(18歳を迎えた最初の3月31日までの児童)を養育しているひとり親家庭等の生活の安定と自立を促進するため、当該家庭等の方に支給します。									A・B・C・D			
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標			R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標
児童扶養手当支給事業(受給件数)		732	↑	↑	↑	↑	児童扶養手当支給事業			732	↑	↑	↑	↑
R3年度の現状	離婚死亡等により、父又は母と生計が同じでない18歳までの児童(18歳を迎えた最初の3月31日までの児童)を養育している方の生活安定と自立を促進するため、当該家庭に児童扶養手当を支給しました。					課題解決のための改善策		現況届が未提出の方については、督促により提出を促し審査を進めてまいります。						
これまでの課題	年1回の現況届が未提出のため、新年度の審査が保留となっている方がいます。					R5からR6年度の取り組み		引き続き手当の支給を行います。						
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標									令和3年度評価			
23	児童手当(子ども家庭課)	家庭生活の安定と児童の健全な育成を図るため、中学校3年生までの児童を養育している方に支給します。									A・B・C・D			
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標			R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標
児童手当支給事業(受給件数)		365,918	↑	↑	↑	↑	児童手当支給事業			365,918	↑	↑	↑	↑
R3年度の現状	家庭生活の安定と児童の健全な育成を図るため、中学校3年生までの児童を養育している方に支給します。					課題解決のための改善策		現況届が未提出の方については、督促により提出を促し審査を進めてまいります。						
これまでの課題	年1回の現況届が未提出のため、新年度の審査が保留となっている方がいます。					R5からR6年度の取り組み		引き続き手当の支給を行います。						

番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和3年度評価				
24	特別児童扶養手当(障害者支援課)	20歳未満の心身に障害のある児童を監護している親、あるいは養育者に支給します。										A・B・C・D				
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標				R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	
受給者人数(人)		287	280	290	→	→	対象となる方に必要な案内が出来、支給に結び付けた				→	→	→	→	→	
R3年度の現状	市の広報、ホームページ、子育てガイドブック及び障害福祉の案内に情報を掲載し、周知しました。					課題解決のための改善策					左記に同じ					
これまでの課題						R5からR6年度の取り組み					これまでと同様に対象となる方に制度について案内し、支給に結び付けたい。					
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和3年度評価				
25	障害児福祉手当(障害者支援課)	20歳未満で心身に重度の障害があり、障害の程度が基準を満たす児童に支給します。										A・B・C・D				
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標				R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	
延べ支給人数(人)		954	1,080	990	→	→	対象となる方に必要な案内が出来、支給に結び付けた				→	→	→	→	→	
R3年度の現状	市の広報、ホームページ、子育てガイドブック及び障害福祉の案内に情報を掲載し、周知しました。					課題解決のための改善策					左記に同じ					
これまでの課題						R5からR6年度の取り組み					これまでと同様に対象となる方に制度について案内し、支給に結び付けます。					
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和3年度評価				
26	子ども医療費の助成(子ども家庭課)	中学校3年生までの子どもが病気などで保険診療を受けた場合、その医療費の一部を助成します。										A・B・C・D				
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標				R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	
子ども医療費助成事業(受給件数)		438,184	↑	↑	↑	↑	子ども医療費助成事業				438,184	↑	↑	↑	↑	
R3年度の現状	中学3年生までの子どもが病気などで保険診療を受けた場合、その医療費の一部を助成します。					課題解決のための改善策					引き続き県へ補助の拡充を要望していきます。					
これまでの課題	県費補助の拡充が課題となっています。					R5からR6年度の取り組み					今後も本事業を継続して実施します。					
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和3年度評価				
27	未熟児養育医療の給付(子ども家庭課・健康増進課)	【子ども家庭課】【健康増進課】乳児及び保護者の保健衛生の向上を図るため、入院養育が必要な未熟児に対して医療給付を行います。										A・B・C・D				
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標				R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	
未熟児養育医療給付事業(受給件数)【子ども家庭課】		148	↑	↑	↑	↑										
給付申請受付数【健康増進課】		52	→	→	→	→										
受給者のフォロー訪問率%【健康増進課】		95	100	100	100	100										
R3年度の現状	乳児及び保護者の保健衛生の向上を図るため、入院養育が必要な未熟児に対して医療給付を行いました。【子ども家庭課】保健センターに問い合わせがあった方については、申請手続きについて丁寧に案内するとともに、申請来庁時に地区担当保健師等が話を伺い、その後の訪問指導を継続して行っています。【健康増進課】					課題解決のための改善策					感染対策を徹底し、対象者が安心できる相談体制づくりに努めます。また、訪問が難しい場合は、電話等の非対面での支援も強化していきます。【健康増進課】					
これまでの課題	退院後も呼吸器管理等されている児の場合、新型コロナウイルスの影響で、感染不安から訪問を希望されない家庭があり、訪問指導が難しいケースもありました。【健康増進課】					R5からR6年度の取り組み					引き続き事業を実施し、未熟児及びその家庭を支援します。【子ども家庭課】引き続き、両課で情報共有を行いながら継続して、適切な支援に努めます。【健康増進課】					

番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和3年度評価				
28	ひとり親家庭等の医療費の助成(子ども家庭課)	18歳までの児童(18歳を迎えた最初の3月31日までの児童)を養育する母子、父子家庭等及びその児童が、医療費の保険給付を受けた場合、その自己負担額の一部を助成します。										A・B・C・D				
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標				R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	
ひとり親家庭等医療費助成事業(受給件数)		27,870	↑	↑	↑	↑	ひとり親家庭助成事業				↑	↑	↑	↑	↑	
R3年度の現状	18歳までの児童(18歳を迎えた最初の3月31日までの児童)を養育する母子、父子家庭等及びその児童が、医療費の保険給付を受けた場合、その負担額の一部を助成します。					課題解決のための改善策					引き続き県へ補助の拡充を要望していきます。					
これまでの課題	県費補助の拡充が課題となっています。					R5からR6年度の取り組み					今後も本事業を継続して実施します。					
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和3年度評価				
29	保育所保育料負担の適正化(保育課)	保護者等が適正な負担となるよう、低所得世帯等に配慮した、保育料の適正化を図ります。										A・B・C・D				
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標				R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	
R3年度の現状	国基準よりも細かい保育料の区分を設定し、低所得世帯等に配慮した保育料決定を行っています。新型コロナウイルス感染症の影響により、施設が休園等になった場合は保育料の還付を行いました。					課題解決のための改善策					多子世帯については、育児に伴う負担が大きいことから、保育料が無料となる対象世帯の拡充を行い、負担軽減を図ります。					
これまでの課題	各家庭の実情に合わせ、適正な負担について検討していく必要があります。					R5からR6年度の取り組み					国基準よりも細かい保育料の区分を設定し、低所得世帯等に配慮した保育料決定を継続して行います。					
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和3年度評価				
30	実費徴収に係る補給給付を行う事業(保育課)	各施設事業者において実費徴収ができることとされている食事の提供に要する費用について、低所得世帯を対象に、費用の一部を助成します。										A・B・C・D				
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標				R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	
R3年度の現状	年収360万円未満相当の世帯及び第3子以降の子どもたちについて、保育所において実費徴収される給食費を免除しました。また、幼稚園の給食費の副食費についても月額4,500円を限度に補助を行いました。					課題解決のための改善策										
これまでの課題						R5からR6年度の取り組み					引き続き対象者に助成を行います。					
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和3年度評価				
31	特別支援教育就学奨励費補助(学校教育課)	特別支援学級へ就学する児童・生徒の保護者(申請に係る世帯の所得状況に応じて支給制限あり)の経済的負担を軽減するため、特別支援学級への就学のために必要な経費の一部を助成します。										A・B・C・D				
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標				R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	
							認定者数(人)				270	→	→	→	→	
R3年度の現状	特別支援学級在籍の経済的困窮世帯の児童・生徒が、安心して学校生活を送るため必要な家庭へ適正に就学奨励費を支給しました。					課題解決のための改善策					支給に必要な申請書及び添付書類に基づき、国が定める基準額以内かまたは超える世帯かに区分します。					
これまでの課題	世帯所得が国の定める基準額を超えている場合は、通学費のみ支給しています。					R5からR6年度の取り組み					引き続き必要な家庭へ就学奨励費を支給します。					

番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和3年度評価	
32	就学援助・奨学金(学校教育課)	経済的理由により就学困難と認められる児童・生徒の保護者への援助を行います。										A・B・C・D	
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標		R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標
広報ながれやま掲載数(年何回)		3	→	→	→	→	認定者数(人)		958	→	→	→	→
R3年度の現状	経済的理由でお困りの児童・生徒が、安心して学校生活を送れるよう学用品等を援助しています。					課題解決のための改善策		個々の家庭事情から適正な認定判断を行います。					
これまでの課題	主たる生計者の収入減等の家庭へは、特別な事情として認定判断を行っています。					R5からR6年度の取り組み		社会情勢を把握し、必要な就学援助を行っています。					
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和3年度評価	
33	入学準備金の貸付(教育総務課)	高等学校又は専修学校に入学を希望する保護者に対して、無利子で貸付します。今後も入学準備金の貸付について、市のホームページや広報紙により情報提供に努めるとともに、入学準備金の調達が困難な保護者に対し、教育の機会均等を図ります。										A・B・C・D	
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標		R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標
入学準備金に関する相談件数		1	→	→	→	→	入学準備金の申請数		0	→	→	→	→
							入学準備金の貸付実施数		0	→	→	→	→
R3年度の現状	市のホームページや広報紙での周知を図るとともに、市内全中学校にパンフレットを配布し、入学準備金貸付制度の周知に努めました。令和3年度は1件の相談がありました。申請はありませんでした。					課題解決のための改善策		市内全中学校へのパンフレット配布や市のホームページ、広報紙での情報発信をできるだけ早い時期に行い、パンフレット内にも早めに申請を行うよう記載しました。					
これまでの課題	申請から口座への入金まで一定の時間がかかるため、早めに申請をしていただく必要があります。					R5からR6年度の取り組み		市のホームページや広報紙により情報提供に努め、入学準備金の調達が困難な家庭の生徒への教育の機会均等を図ります。また、窓口での丁寧な説明を心がけ、入学準備金貸付の制度を利用いただけるよう努めます。					

基本目標2 子どもと保護者の健康づくり

(1)子どもや保護者の健康の確保

番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標	令和3年度評価
★34	妊娠・出産・子育てサポート事業 (健康増進課)	子育てなんでも相談室として、妊娠・出産・子育てまで切れ目のない支援を実施します。母子健康手帳交付時の妊婦面談により情報把握を行い作成した支援計画をもとに安心して出産・育児に臨めるよう、妊娠早期から不安や困り事についての相談に応じ、解決に向けた支援をします。 子育て世代の流入に伴い、転入者や初妊婦も増えることが見込まれることから、安心して妊娠・出産・子育てができるよう、母子健康手帳交付時に「コウノトリプラン」を一緒に作成します。 出産後、心身の不調や育児不安のある母子に対し、「産後ケア」を紹介していきます。 子育てなんでも相談室(子育て世代包括支援センター)を中心に、子ども家庭課をはじめ関係機関・団体と連携し、子育てについてのサポートをしていきます。	A・B・C・D

主な活動指標(事業実績)	R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標	R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標
妊婦面談率(%)	100	100	100	→	→	この地域で今後も子育てをしていきたい者の割合(%)	93	96.5	95	96.5	↑
乳児家庭全戸訪問実施率(%)	94	100	95	↑	↑	育てにくさを感じた時に対処できる親の割合(%)	82	88	85	88	↑
R3年度の現状	母子健康手帳交付時に面談を行い、妊婦に対し早期に状況把握及び必要な情報提供や支援を実施しています。「産前産後サポート事業」では、妊婦を対象とした教室を開催し孤立感の軽減及び地域での仲間づくりを促し、孤立感の軽減を図っています。新型コロナウイルス感染症の影響により、家族等からのサポートが受けられない等の相談が寄せられています。また、感染状況により事業の実施方法の工夫が必要となっています。					課題解決のための改善策	産前産後に家族からのサポートを受けられない方へ、「育児支援等サポート事業」による家事・育児支援を提供し妊産婦の身体的及び心理面の負担を軽減します。また、「産前産後サポート事業」では、オンラインと対面での開催を実施します。なお、令和4年度末には、南流山センター内に「子育てなんでも相談室」を開設し、更なる支援体制の強化を図ります。				
これまでの課題	支援を要する妊産婦の増加がみられます。コロナ禍においての情報提供や支援体制が脆弱にならないよう、関係機関との連携により安定的な切れ目のない支援の継続が必要です。また、家族等からのサポートが受けられない方への様々な支援が必要です。					R5からR6年度の取り組み	保健センターと南流山センターの2つの「子育てなんでも相談室」による相談・支援体制の強化を図ります。新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を継続しつつ、妊産婦へ必要な情報提供や切れ目のない支援が実施できるよう努めます。				

番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標	令和3年度評価
35	母子健康教育 (健康増進課)	妊産婦、乳幼児の健康の保持増進のための育児技術や生活習慣などが身につけられるよう支援を行います 転入世帯が増え、参加者数の増加やパートナー参加のニーズがみられているため、実施方法について検討し、市民が受講しやすい体制を整え、地域交流のきっかけの場を担えるような内容などを検討していきます。また、関係機関との連携を強化しながら、支援を進めていきます。	A・B・C・D

主な活動指標(事業実績)	R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標	R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標
ハローベビー開催回数	35	50	45	45	45	ハローベビー参加者数	685	1,000	1,000	1,000	1,000
むし歯予防教室開催回数	34	42	40	36	36	むし歯予防教室参加者数	935	1,700	1,600	1,400	1,400
R3年度の現状	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和3年度も事業を中止した期間があり、令和2年度同様にコロナ禍で子育てに不安を抱える方には各種専門職が個別に対応しました。また、事業再開時には、感染症対策を行い、安心して受講できるよう人数の制限、実施内容を変更しました。					課題解決のための改善策	中止の際は個別通知を行い、必要に応じて、各専門職が電話にて1人ずつ丁寧に相談指導を行い、不安を解消するよう努めました。また、事業の中止が決定した際には、個別案内だけでなく、安心安全メールを活用し、広く周知しました。				
これまでの課題	緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置の発令により、事業を急ぎ中止する際に、既に受講予定者(申込者)への周知が十分ではありませんでした。					R5からR6年度の取り組み	新型コロナウイルス感染症対策を行い、内容を検討しながら事業を実施します。また、参加しやすい体制を検討しながら、コロナ禍によって子育てが孤立化しないよう各種専門職がニーズに沿った教育内容となるよう検討していきます。				

番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標	令和3年度評価
★36	乳幼児健康診査 (健康増進課)	乳幼児健康診査の充実を図ったことで、疾病や発達障害の早期発見予防といった丁寧な健康診査に努め、子育て中の保護者の孤立化を防ぎます。また、マイナンバーを活用した他市町村との情報連携を行い、未受診者を把握することで、虐待の予防、早期発見に繋がります。 (参考)乳幼児健康診査(3～6か月児、9～11か月児)、3か月児健康診査、1歳6か月児健康診査、3歳児健康診査	A・B・C・D

主な活動指標(事業実績)	R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標	R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標
乳児一般健康診査受診券交付者数(人)	2,656	2,500	2,500	→	→	1歳6か月児、3歳児健康診査受診率(%)	93.6	98	95	→	→
3か月児、1歳6か月児、3歳児健康診査受診券交付数(通)	7,334	7,100	7,000	→	→	3か月児健康診査受診率(%)	93.8	99	95	→	→
R3年度の現状	令和2年度から引き続き、新型コロナウイルス感染症予防に配慮しながら、保護者が安心してお子様にとって適切な年齢で各種健康診査を受診できるよう、市内協力医療機関で受診する個別健診を含めた内容で実施しています。					課題解決のための改善策	3か月児、1歳6か月児、3歳児健康診査については、未受診訪問を実施し、状況の把握及び問診票を再交付する等、引き続き、受診勧奨を行い全数把握に努めます。新生児聴覚スクリーニング検査については、早期発見、早期療育につながるよう関係機関との連携に努めます。				
これまでの課題	1歳6か月児、3歳児健康診査の実施方法を一部医療機関での個別健診に変更したことにより、受診率が低下しました。また、令和3年度から実施している新生児聴覚スクリーニング検査については、検査結果を確実に把握することが必要です。					R5からR6年度の取り組み	新型コロナウイルス感染症の影響を受ける中で乳幼児健康診査の実施方法について、受診率の向上も考慮し、内容を含め、更なる検討が必要です。また、未受診者については、必要に応じて、関係機関と連携して、状況の把握に努めます。				

番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和3年度評価		
37	母子健康相談 (健康増進課)	保護者の育児不安の軽減を図り、子供が健やかに育つよう、育児や栄養、歯科等の相談について専門職がいつでも気軽に相談できる体制づくりに努めます。 ・育児相談、健康相談フォローアップ相談(予約制)、すくすく相談(常設)										A・B・C・D		
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標			R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標
来所者数(延べ数)		302	→	350	450	550	相談件数(延べ数)			433	→	450	550	650
R3年度の現状	新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、保健センター、南流山センター、東部公民館、向小金福祉会館にて、年間17回のフォローアップ相談を実施しました。育児に関する相談や助言を希望する保護者が安心して相談できるよう予約制とし、感染症予防に努めました。また、保健センターにおいて乳幼児用の身長・体重計を常設し、保護者の多様なニーズに各専門職が対応できるよう「すくすく相談」を実施しています。	課題解決のための改善策			すくすく相談が気軽に利用できない地域のフォローアップ相談においては、予約枠を拡充します。保健センターで開催するフォローアップ相談は、乳幼児健康診査後の相談事業と同日に1日開催とすることで、対応できる時間が増え、保護者の様々なニーズに対応できると考えます。									
これまでの課題	南流山センターで実施しているフォローアップ相談は、ニーズは高いが、隔月開催のため、保護者が相談したいタイミングと合わないことがあります。一方、すくすく相談は、保健センターのみ実施しているため、気軽に利用できない地域があります。	R5からR6年度の取り組み			母子訪問事業の際にすくすく相談の周知に努めた結果、利用者が増加しました。令和4年度末には、南流山センターにも保健センター同様の常設相談を設置するため、気軽に相談できる環境が整備されます。引き続き、各専門職が保護者に寄り添いながら相談できる体制づくりに努めます。									
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和3年度評価		
38	母子訪問指導 (健康増進課)	訪問指導によって、妊娠・出産・育児の不安解消を図り、健康の保持、増進に努めます。今後も、他事業や関連機関との連携強化を行い、早期に支援へつなげる体制づくりを行います。また、対象者の増加が予想されることから、訪問従事者の確保に努めます。 ・妊産婦、新生児訪問指導 ・乳幼児訪問指導										A・B・C・D		
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標			R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標
乳幼児家庭全戸訪問実数		1,987	→	→	→	→	乳幼児家庭全戸訪問実施率(%)			94	100	96	96	96
R3年度の現状	対象者は出生届から抽出し、長期入院や長期里帰りの理由に不在のお子さん以外は全数訪問を実施し実施率は増加しました。	課題解決のための改善策			妊娠・育児サポート係との連携により事前に対象家庭の状況や予測される問題などの情報を得て、早期に必要な支援に繋がっていきます。									
これまでの課題	乳幼児の人口増加に伴い、支援が必要な家庭も増加傾向にあります。相談内容も様々であり、必要な支援を適切なタイミングで提供する必要があります。	R5からR6年度の取り組み			他事業や関連機関との連携強化を行い、訪問指導によって育児の不安解消を図るとともに、早期に継続的な支援へ繋げる体制づくりを行います。									
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和3年度評価		
39	健診後のフォロー体制づくり (健康増進課)	発達等、心配のある乳幼児への専門的アドバイスと適切な対応を図ります。今後も各乳幼児健康診査・おやこ相談・幼児グループ等の場でも関係職種と情報共有し、支援を要する対象児に対し、適切な時期に支援を行います。 ・発達・健康・心理相談 ・幼児グループ指導 ・乳幼児ケース検討										A・B・C・D		
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標			R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標
幼児グループ実施回数		15	22	→	→	→	幼児グループ参加人数			43	→	→	→	→
おやこ相談実施回数		140	↑	↑	↑	↑	おやこ相談利用数			665	↑	↑	↑	↑
R3年度の現状	幼児グループについては、新型コロナウイルス感染症の影響のため、中止となる期間がありました。おやこ相談は乳幼児の人口増加に伴い、件数が増加しています。適切な時期に支援ができるよう、関係機関との情報共有に努めました。	課題解決のための改善策			適切な時期に適切な支援ができるよう、おやこ相談の相談枠の確保を行いました。									
これまでの課題	おやこ相談は、相談ニーズの高まりがみられ、キャンセル待ちの状況が生じました。	R5からR6年度の取り組み			引き続き、各支援の際には、関係職種や必要に応じて関係機関とも連携をとりながら、支援を必要とする児童に対して、適切な時期に支援を行っていきます。おやこ相談については、ニーズの高まりがみられ、キャンセル待ちの状況が生じているため、相談時間を工夫し、相談枠の増枠を図り対応します。									

番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和3年度評価				
40	予防接種 (健康増進課)	<p>予防接種による疾病予防の啓発普及に努めるとともに、接種率の向上に努めます。令和6年度末まで、引き続き令和元年度から3年間、風しんの抗体検査・第5期定期接種を実施します。また定期接種対象外の年齢の方で、妊娠を希望する女性や、その配偶者を対象に風しんの予防接種費用の助成を実施します。今後も国の動向や感染症の流行状況をみながら、事業を継続していきます。</p>										A・B・C・D				
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標				R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	
麻しん風しん1期予防接種個別勧奨通知		1/年	→	→	→	→	接種率(A類:麻しん風しん1期)(%)				92.22	95.0	95.0	95.0	95.0	
麻しん風しん2期予防接種個別勧奨通知		2/年	→	→	→	→	接種率(A類:麻しん風しん2期)(%)				96.75	95.0	95.0	95.0	95.0	
R3年度の現状	<p>風しん抗体検査・風しん第5期予防接種は、時限措置最後の年として実施していたため、未接種者への新規クーポン発行や転入者への通知、広報等での周知を行いました。その他の定期予防接種についても、個別勧奨等で接種に関する周知を行いました。</p>					課題解決のための改善策					<p>麻しん風しん混合ワクチン含め、接種率向上のため令和4年度は事業を活用した接種勧奨を検討します。</p>					
これまでの課題	<p>令和3年度は、麻しん風しん混合ワクチン第1期(1歳)について接種率の低下が見られました。これまで、1歳6か月児健康診査の機会に、麻しん風しん混合ワクチン第1期の接種勧奨を対面で実施していましたが、新型コロナウイルス感染拡大により医療機関での個別健康診査となったことから、直接勧奨をする機会が減ってしまいました。</p>					R5からR6年度の取り組み					<p>令和4年度からヒトパピローマウイルス感染症予防接種(以下「HPVワクチン」)の接種勧奨が再開されたため、標準的な接種年齢を迎える対象者へ個別勧奨を行います。風しんの抗体検査・風しん第5期予防接種の実施期間延長については、未接種者への新規クーポン券の発行や、転入者への通知を行います。また、1歳6か月児健康診査の個別通知等の様々な機会を利用した接種勧奨を行い、接種率の向上を図ります。引き続き、定期接種の安全で適切な実施に努めます。</p>					
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和3年度評価				
★41	養育支援訪問事業・産褥期ヘルパーの情報提供 (子ども家庭課・健康増進課)	<p>【子ども家庭課】産後、親族等の支援が難しい方等を中心に利用できるサービスの情報提供を行うとともに、利用者の適切な支援計画を作成し、安心して産後の生活ができるよう支援します。</p> <p>【健康増進課】養育支援が特に必要な家庭に対し、専門職等による訪問を実施し、養育に関する指導・助言・必要なサービスの情報提供等を行うことで、保護者等が適切な養育を行えるよう支援していきます。今後は支援体制の見直しを関係機関と行い、事業の充実を図ります。</p>										A・B・C・D				
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標				R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	
養育支援訪問実数【健康増進課】		7	→	→	→	→	ヘルパーサービス利用実数【健康増進課】				4	→	→	→	→	
養育支援訪問延数【健康増進課】		18	→	→	→	→	ヘルパーサービス利用延べ数【健康増進課】				18	→	→	→	→	
R3年度の現状	<p>新型コロナウイルス感染症の影響で、支援可能な事業所が限られたケースがありました。必要性が高い家庭については、保護者や事業所と調整を図りながら実施しました。【子ども家庭課】乳児家庭全戸訪問の結果や健診、関係機関からの情報等で把握した、支援が必要な家庭について、健康増進課内で検討を行い、必要な家庭に養育支援家庭訪問を実施しています。また、関係部署と連携が必要な場合は、随時情報共有し、評価しながら対応や役割を明確にして対応しています。【健康増進課】</p>					課題解決のための改善策					<p>関係機関と連携し、支援の必要性が高い家庭に適切にサービス提供が行えるよう情報提供を行うとともに、利用希望者には支援計画を作成し、安心して子育てができるよう支援します。【子ども家庭課】課内や関係部署との検討会やケース会議を実施し、必要なサービスを実施できるよう、関係機関と連携していきます。また、その様な機会を活用し、個々のケースの支援検討だけでなく、支援体制の整備や連携強化についても検討していきます。【健康増進課】</p>					
これまでの課題	<p>養育訪問支援(ヘルパー派遣)の必要性が高いと判断しても、保護者の理解が得られなかったり、予定された支援期間が保護者の意向で切り上げとなることがありました。【子ども家庭課】乳幼児の人口増加に伴い、支援が必要な家庭も増加傾向にあります。相談内容も様々であり、引き続き必要な支援を適切なタイミングで提供する必要があります。【健康増進課】</p>					R5からR6年度の取り組み					<p>子育てにあたり、親族等の支援が難しい方等に利用できるサービスの情報提供を行うとともに、適切な支援計画を作成し、安心して生活ができるよう支援します。【子ども家庭課】支援が必要なケースに関しては地区担当保健師がケースワークをしている場合もあり、養育支援訪問の適応があっても利用していない場合もあります。適切なタイミングで必要な支援を展開できるよう、事例検討等を行い、事業への理解を深めていくとともに、研修を通して指導・助言の質の向上、情報の更新に努める必要があります。【健康増進課】</p>					

(2)食育の推進													
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和3年度評価	
42	食に関する講座・体験学習 (公民館・健康増進課・保育課)	<p>【公民館】地元で作られる野菜などの食材を活かした食育体験等、地場産業の振興と健康づくりを兼ねた講座の展開に努めます。</p> <p>【健康増進課】今後も引き続き、生涯にわたり健康の維持増進のための適切な食生活の習慣や技術が身につけられるよう支援を行います。</p> <p>・親子の食生活共同体験学習の開催 ・親子の食セミナーの開催 ・親子クッキング、給食参観 ・健康づくり推進員の活動の支援 など</p> <p>【保育課】地元で作られる食材を活かした食育体験や保育参観を通じて、保護者に給食を体験する機会を設けます。</p>										A・B・C・D	
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標		R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標
ハローベビー(調理実習等)実施回数【健康増進課】		8	→	12	12	12	ハローベビー(調理実習等)参加人数【健康増進課】		66	→	→	→	→
親子クッキング実施回数【健康増進課】		0	→	1	↑	↑	親子クッキング参加人数【健康増進課】		0	→	↑	↑	↑
保育所給食参観件数【保育課】		0	0	0	4	4	保育所給食参観参加人数【保育課】		0	0	0	300	300
開催回数【公民館】		0	→	↑	↑	↑	参加者数【公民館】		0	→	↑	↑	↑
R3年度の現状	<p>新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、親子クッキングは中止とし、ハローベビーも、新型コロナウイルス感染症の状況により、中止となる場合もありました。開催時には感染症対策として、令和2年度に引き続き調理実習を中止し、講義のみを行いました。【健康増進課】</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響のため、給食参観は行いませんでした。【保育課】</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策として、食育体験等の講座を開催する事ができませんでした。【公民館】</p>	課題解決のための改善策		<p>参加者のニーズに合っているのが情報収集を行い、必要な事業の実施内容等を検討して実施していきます。【健康増進課】</p> <p>地元で作られる食材をできるだけ身近に感じることが出来るような媒体を作成します。【保育課】</p> <p>令和4年度は、新型コロナウイルス感染症対策を行いつつ、食育の講座等を開催していきたいよう努めます。【公民館】</p>									
これまでの課題	<p>両親学級で行っていた調理実習が参加者のニーズに合っているのか検討する必要があります。【健康増進課】</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響のため、地元で作られる食材を活かした食育体験を行うことが出来なくなっています。【保育課】</p> <p>令和2年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症対策により、開催出来なかった事です。【公民館】</p>	R5からR6年度の取り組み		<p>新型コロナウイルス感染症の予防に努めながら、健康づくりのための適切な食生活の習慣や技術が身につけられるよう支援していきます。【健康増進課】</p> <p>新型コロナウイルス感染症の状況をみて検討します。【保育課】</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策を行いつつ、食に関する講座を企画出来るよう取り組みます。【公民館】</p>									
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和3年度評価	
43	食育指導・情報提供 (健康増進課・学校教育課・保育課)	<p>【健康増進課】関係機関と連携し、保育所、学校など様々な場や機会を通して、子どもが望ましい食習慣を身につけ、心身の健やかな発達ができるよう、食に関する教育を推進します。また、食に関する教育や情報の提供について、保健センター、保育所、学校等関係機関の連携を強化し、総合的な取組が行えるよう総合的な体制づくりと事業の推進を行います。</p> <p>【学校教育課】子どもが望ましい食習慣を身につけ、心身の健やかな発達ができるよう、食に関する教育を推進します。また、食に関する教育や情報の提供について、保健センター、保育所、学校等関係機関の連携を強化し、総合的な取組を推進します。</p> <p>【保育課】地産地消の観点から、地元の野菜を増やし、食育の推進を図ります。</p>										A・B・C・D	
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標		R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標
食育推進会議【健康増進課】		3回/年	3回/年	→	→	→	出席率(%)【健康増進課】		75.8	100	100	100	100
食育パネル展示【健康増進課】		3会場	→	→	↑	↑	関係課との連携強化【健康増進課】		→	→	→	→	→
食に関する指導計画の作成(校)【学校教育課】		26	26	27	27	29							
地元の野菜数(米を含む)【保育課】		3	5	5	5	5	地元の野菜を使用した献立の回数【保育課】		281	320	330	340	350
R3年度の現状	<p>関連機関と連携し、食育のパネル展示等により食育を推進しています。新型コロナウイルス感染症の影響により、食育推進会議をオンラインディスカッションで行うなど、感染対策に努めました。【健康増進課】</p> <p>各学校において、献立表の作成及び給食だよりを配布したほか、ホームページに掲載するなど、保護者への学校給食に関する情報提供を実施しました。【学校教育課】</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響で、流山産の野菜の種類や、納品回数を増やすことが出来ませんでした。【保育課】</p>	課題解決のための改善策		<p>より多くの市民に食育に関心をもってもらえるよう、情報提供の方法や周知について検討していきます。【健康増進課】</p> <p>基本的な感染防止対策を講じ、また趣向を凝らした食育の実施をしていきます。【学校教育課】</p> <p>地元の野菜について知り、増やしていきます。【保育課】</p>									
これまでの課題	<p>食育について様々な年代の方々に、さらなる周知が課題となっています。【健康増進課】</p> <p>本の物語に出てくる献立を実物化する「おはなし給食」、乳牛とのふれあい体験や搾乳体験をする「モーモースクール」の実施をしました。【学校教育課】</p> <p>地元の野菜の種類を増やすことが出来ませんでした。【保育課】</p>	R5からR6年度の取り組み		<p>市民が、食育を通し健全・健康な食生活を送れよう、各関係機関・団体と連携し、情報の共有化を図りながら推進していきます。【健康増進課】</p> <p>関係機関と連携した食育の強化していきます。【学校教育課】</p> <p>地元の野菜の種類を増やすとともに納品回数も更に増やしていきます。【保育課】</p>									

番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和3年度評価				
44	乳幼児の食生活指導 (健康増進課)	乳幼児が適切な食習慣を身につけるとともに、むし歯を予防するため、保護者を対象にして、離乳食の進め方や、調理実習、歯磨きの指導などを行い、生涯にわたる健康な身体のための正しい情報提供を行います。 ・もぐもぐ教室(離乳食初期) ・カムカムキッズ(離乳食後期) ・むし歯予防教室 ・乳幼児健診の場を通じた情報提供										A・B・C・D				
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標		R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標			
もぐもぐ教室(離乳食初期)実施回数		28	→	39	39	39	もぐもぐ教室(離乳食初期)参加人数		770	→	→	→	→			
カムカムキッズ(離乳食後期)実施回数		14	→	24	24	24	カムカムキッズ(離乳食後期)参加人数		256	→	→	→	→			
R3年度の現状	新型コロナウイルス感染症の状況により、中止となる場合もありましたが、開催時には感染症対策を行い、試食を中止し、乳幼児が適切な食習慣を身につけるための情報提供に努めました。					課題解決のための改善策		令和4年度についても引き続き、情報収集を行い、適切な支援をしていきます。新型コロナウイルス感染症の状況によっては、可能な限り感染症対策を行い、試食を取り入れた離乳食教室の再開を検討していきます。								
これまでの課題	随時、受講者の意見や最新情報を取り入れ、ニーズに応じた指導内容にしていく必要があります。また、感染症対策を行い、試食の再開に向けて実施方法を検討する取り組みが必要です。					R5からR6年度の取り組み		新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を行い、離乳食教室を通して、乳幼児が適切な食習慣を身につけ、生涯にわたる健康な身体のための情報提供を行います。今後も正しい情報収集を行い、保護者に寄り添い、支援していきます。								
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和3年度評価				
45	栄養相談・栄養指導 (健康増進課・保育課)	【健康増進課】今後も各事業を通し、乳幼児健診や乳幼児相談において、栄養士による相談及び乳幼児の家庭での食事を通した生涯にわたる健康づくりの支援を行います。 【保育課】アレルギー等の乳幼児に対し、個別相談を行い、適切な給食を提供するなど、事業の継続に努めます。										A・B・C・D				
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標		R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標			
各種乳幼児健診(1歳6か月児健診、3歳児健診)、フォローアップ相談実施回数【健康増進課】		77	→	→	→	→	各種乳幼児健診(1歳6か月児健診、3歳児健診)、フォローアップ相談栄養相談数【健康増進課】		2,159	→	↑	↑	↑			
個別相談人数【保育課】		10	→	→	→	→	適切な給食の提供【保育課】		100%	100%	100%	100%	100%			
R3年度の現状	新型コロナウイルス感染症の状況により事業が中止となる場合もありましたが、開催時には感染症対策を行い、実施しました。事業が中止となった際には、電話にて相談指導を行い、不安を解消するよう努めました。【健康増進課】アレルギー児等に個別面談を行い、安心安全な給食の提供を行いました。【保育課】					課題解決のための改善策		対面での相談に代わる相談方法として、電話相談ができる体制を整備し、保護者の不安やニーズの把握に努め、情報提供の方法等、検討していきます。【健康増進課】適切な給食の提供ができるように、様々な職種と連携してします。【保育課】								
これまでの課題	1歳6か月児健康診査は、個別健診にて対面で栄養相談を実施できないため、栄養相談の実施数が減少しています。栄養指導や保護者の不安やニーズに答えるための実施方法について検討が必要です。【健康増進課】既に相談済の児童に対しても、再度個別相談を行い、適切な給食の提供ができるようにすることです。【保育課】					R5からR6年度の取り組み		令和4年3月にアレルギー疾患対策基本指針が一部改正されたため、アレルギーについて両親学級(ハローベビー)や乳幼児健診などの母子保健事業の機会でも多くの保護者等に適切な指導ができるよう体制づくりをしていきます。今後も常に新しい情報収集を行い、各種専門職と連携し、保護者に寄り添い相談指導を行うよう努めてまいります。【健康増進課】引き続き、適切な給食の提供ができるように、様々な職種と連携を行っていきます。【保育課】								

(3) 思春期保健対策の充実													
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標						令和3年度評価					
46	思春期相談体制の充実 (子ども家庭課・生涯学習課・指導課・学校教育課・健康増進課)	<p>【子ども家庭課】学童期、思春期等の相談に様々な角度で対応できるよう、関係機関と連携を図りながら、引き続き、相談体制を強化していきます。</p> <p>【生涯学習課】青少年やその保護者たちが一人で悩まないよう、青少年専門相談員による電話、訪問、窓口での相談の充実を図ります。</p> <p>【指導課】子ども専用ホットラインの電話相談やいじめ報告・相談アプリの導入により、今後も継続して相談体制の充実に努めます。</p> <p>【学校教育課】松戸健康福祉センターなど、関係機関との連携を高め、思春期相談活動の充実に努めます。</p> <p>【健康増進課】学童期、思春期における悩みや性的問題に関し、松戸健康福祉センター(保健所)、学校保健との連携を強化し、相談しやすい体制づくりにより努めます。</p>						A・B・C・D					
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標		R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標
相談件数(件)【生涯学習課】		57	—	—	—	—							
保健主事部会参加回数【健康増進課】		1/年	1/年	1/年	1/年	1/年	市民からの相談対応の有無【健康増進課】		有り	有り	有り	有り	有り
電話相談・アプリ相談件数【指導課】		電話14件 アプリ24件	→	→	→	→	相談アプリ登録率【指導課】		7.2%	↑	↑	↑	↑
松戸保健所による思春期講演会の実施【学校教育課】		1	↑	→	→	→							
R3年度の現状	家庭児童相談として、学童期や思春期の児童本人や、保護者の相談に応じました。【子ども家庭課】相談者が相談しやすい雰囲気づくりや丁寧な聞き取り等で相談活動の充実を図っていますが、相談窓口の性質上、どうしても待ちの状況になりがちです。また、市内でも色々な相談窓口があるので、区別化が難しいのが現状です。【生涯学習課】子ども専用いじめホットラインは、14件、アプリは、24件の利用がありました。【指導課】コロナ禍のため、松戸保健所においては、本市の保健主事部会の講師依頼は辞退されました。松戸保健所が主催する思春期講演会には、希望する教職員が参加しています。【学校教育課】学校からの依頼に基づき、性教育の実施を行いました。生徒の実情や理解度に合わせた講義内容となるよう打ち合わせを行い、内容を検討しました。感染症対策の為、体育館で行うなど考慮して対面で実施することが出来ました。【健康増進課】	課題解決のための改善策		各種研修に参加し相談スキルの向上を目指すと共に、必要に応じてスクールカウンセラーや医療機関等関係機関と連携し、学童期や思春期の悩みに対応していきます。【子ども家庭課】個々の相談への対応については、全体的に充実を図ることができましたが、学校や関係機関との積極的な連携に課題が残ったため、案内後の状況についても情報提供してもらい、継続的な支援を可能にするよう努めます。【生涯学習課】なやみホットラインと名称を変更し、相談内容をいじめに限定しないようにしました。【指導課】学校保健と地域における母子保健の課題とを現状を共有し、講義内容を検討します。【健康増進課】									
これまでの課題	SNSの普及や様々な家庭背景等から、子どもや保護者が抱える問題が複雑多岐に渡り、専門的な相談スキルが必要となっています。【子ども家庭課】相談者の悩みの解決が図れるよう、相談内容によって関係機関を案内していますが、案内までに留まりがちなので、確実に繋いでいけるよう連携を強化していく必要があります。【生涯学習課】相談先の周知と相談利用の増加が課題です。【指導課】学校と連携し、学校と母子保健の課題を照らし合わせながら、その年代に応じた思春期教育を実施していくことが必要です。【健康増進課】	R5からR6年度の取り組み		学童期、思春期の児童本人や保護者等の相談に適切に対応できるよう、関係機関と連携を図りながら、相談体制を強化していきます。【子ども家庭課】より多くの市民に相談の機会を提供できるよう、相談活動の工夫に努めます。また、関係機関への案内だけでなく、案内後の状況についても情報提供してもらい、継続的な支援を可能にしていきます。【生涯学習課】相談先の周知といじめ防止授業等いじめ防止に関する取組を実施します。【指導課】事業の継続を図り、松戸健康福祉センターの思春期相談事業の積極的活用を図ります。【学校教育課】随時思春期の相談に応じ、学校と一緒に課題を共有し、必要に応じて松戸保健所の思春期相談を紹介し、適切な相談につなげます。【健康増進課】									
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標						令和3年度評価					
47	学校保健と地域保健の連携強化(学校教育課・健康増進課)	<p>【学校教育課】関係機関との連携を高め、<b>中学校保健体育における指導の充実</b>に努めます。</p> <p>【健康増進課】学校保健と地域保健のそれぞれの情報の共有化を行いながら、学校保健と地域保健との連携を図っていきます。</p>						A・B・C・D					
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標		R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標
学校保健主事部会での健康増進課保健師による指導助言【学校教育課】		2	↑	→	→	→							
市内学校での健康教育の有無【健康増進課】		有り	有り	→	→	→	性教育実施回数【健康増進課】		2	2	→	→	→
R3年度の現状	各学校の年間保健計画について専門的な見地から指導助言をいただいた。コロナ禍のため、2回目はオンラインで参加いただいた。【学校教育課】学校保健主事部会に保健師が参加し、学校における保健の現状や課題を把握し、地域保健や母子保健の取り組みを共有しました。また、学校より依頼を受け性教育の講義を実施しました。また、小学校に、沐浴人形の貸し出しを行いました。【健康増進課】	課題解決のための改善策		題材を選定し、話し合いに統一性を持たせる必要があります。【学校教育課】学校保健主事部会に参加し、学童期、思春期における悩みや性的問題等、学校保健の思春期における課題を把握し、共有しました。【健康増進課】									
これまでの課題	保健主事部会の話し合う題材が幅広く広がっています。【学校教育課】学校における学校保健の現状や課題を把握し、共有し、母子保健と学校と地域の課題を照らし合わせながら、各々の事業に反映させていく必要があります。【健康増進課】	R5からR6年度の取り組み		学校保健の課題とされている、がん教育、性教育、薬物乱用防止教育について、各関係機関との連携を図り、充実させ努めます。【学校教育課】引き続き学校保健と地域保健のそれぞれの情報共有を行いながら、連携を強め、事業内容の充実を図ります。【健康増進課】									

番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和3年度評価	
48	性と生の教育の充実 (公民館)	自分を大切に、健康に生きるための学習を、保護者を対象に講座を開催します。										A・B・C・D	
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標		R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標
家庭教育講座開催回数			→				参加者数			→			
R3年度の現状							課題解決のための改善策						
これまでの課題							R5からR6年度の取り組み						
(4)小児救急医療の充実													
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和3年度評価	
49	救急医療体制の充実 (健康増進課)	平日夜間・休日診療所及び夜間小児救急による初期診療・応急処置(第1次救急)を継続するとともに、こども急病電話相談などの周知を図り、夜間・休日における小児の急病の際にも安心できる体制を確保していきます。										A・B・C・D	
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標		R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標
利用者数		2,314	→	→	→	→							
R3年度の現状	平日夜間・休日診療所及び東葛病院において夜間小児救急による初期診療(第1次救急)を実施しました。新型コロナウイルス感染症の流行により、医療機関の受診判断に迷われている方に対し、流山市新型コロナウイルス相談専用ダイヤルにて、受診判断に迷われている方の相談に応じています。						課題解決のための改善策	医療機関に受診するか迷った時や、救急車を呼ぶか迷った時、看護師や医師が電話で相談に応じる「こども急病電話相談( #8000)」の更なる啓発に努めるほか、流山市新型コロナウイルス相談専用ダイヤルにて、受診判断に迷われている方への相談対応を継続します。					
これまでの課題	新型コロナウイルス感染症の流行が続いており、医療機関の受診判断に迷われている方がいます。						R5からR6年度の取り組み	引き続き一般社団法人流山市医師会の協力のもと、平日夜間・休日診療所及び夜間小児救急の継続とこども急病電話相談の啓発等に取り組んでいきます。					

基本目標3 子どもが健やかに成長できる環境づくり

(1)子どもの人権の擁護

番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標	令和3年度評価
50	こどもの権利条約・児童憲章の周知・啓発(指導課・子ども家庭課・障害者支援課)	<p>【指導課】人権週間等で意識を高めるだけでなく、子どもの権利や人権意識の定着のため今後も周知・啓発に努めます。また、流山市いじめ防止対策推進条例及び流山市いじめ防止基本方針を踏まえ、子どもたちがいじめに對する考え方を身に付けられるように、スクールロイヤー等による「自他ともに人権を守る大切さ」をテーマに『いじめ防止授業』を実施します。</p> <p>【子ども家庭課】児童の個性と権利を尊重するという考え方を社会に普及、定着させるため、児童の権利に関する理念の普及、啓発に努めます。</p> <p>【障害者支援課】関係課と連携を図り、相談支援を行う中で周知・啓発に努めます。</p>	A・B・C・D

主な活動指標(事業実績)	R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標	R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標
権利擁護に関する普及啓発【指導課】	↑	↑	↑	↑	↑	関係課との連携強化【指導課】	↑	↑	↑	↑	↑
スクールロイヤーのいじめ防止授業(校)【指導課】	26	26	27	27	29	いじめ防止授業実施数【指導課】	26	26	27	27	29
権利擁護に関する普及啓発【障害者支援課】	→	↑	↑	↑	↑	関係課との連携強化【障害者支援課】	→	↑	↑	↑	↑
R3年度の現状	<p>スクールロイヤーによるいじめ防止授業を児童生徒向けに行い、いじめに関する法律や、いじめに對する考え方を指導しました。【指導課】児童虐待防止のパネル展示等の広報啓発活動のほか、相談対応を行う中で子どもの権利に関する理念の普及、啓発を行いました。【子ども家庭課】個別支援会議への参加や関連するケースに關係課と連携して対応を行い、権利擁護を踏まえた相談支援を行いました。【障害者支援課】</p>					<p>課題解決のための改善策</p> <p>小学校低学年向けのいじめ防止授業の資料を市教委が考案し、各学校で行ってもらう報告で調整します。【指導課】児童本人及び保護者への相談対応を行う中で、児童の権利に関する意識の啓発・周知を図ります。【子ども家庭課】</p>					
これまでの課題	<p>小学校低学年向けの授業ができていないことが課題です。【指導課】子どもの権利が育かされる児童虐待に関する相談が増加しています。【子ども家庭課】</p>					<p>R5からR6年度の取り組み</p> <p>全ての学年に実施できるように、調整していく必要があります。【指導課】児童の個性と権利を尊重するという考え方を社会に普及、定着させるため、引き続き児童の権利に関する理念の普及、啓発に努めます。【子ども家庭課】關係課と連携を図り、相談支援を行う中で周知・啓発に努めます。【障害者支援課】</p>					

番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標	令和3年度評価
51	指導者の育成(指導課)	人権に関する研修を更に進めるため、また、教職員・保護者等の人権意識の高揚を図るためにも、指導者の育成に積極的に努めます。	A・B・C・D

主な活動指標(事業実績)	R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標	R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標
人権教育、道徳教育に係る研修会への参加や情報発信を促す	35	→	→	→	→	道徳教育推進研修会実施回数	1	→	→	→	→
R3年度の現状	<p>コロナの影響もあり、当初流山市で計画していた「人権教育推進研修会」は開催できず、松戸市人権擁護委員協議会流山支部による人権教室についても、中学生は中止、小学生についてはオンライン形式にて実施となりました。しかし、R2年度より研修等の機会が増え、教職員や児童生徒へ情報を発信することができました。</p>					<p>課題解決のための改善策</p> <p>安全を十分に講じた上で、人権教育や道徳教育を推進する研修会を企画していきます。教職員や児童生徒に對して、人権や道徳に関する様々な情報をより分かりやすく伝えられるよう、伝達方法を工夫します。</p>					
これまでの課題	<p>教職員や児童生徒への理解を図ったり、情報を発信したりするための工夫をどのようにしていくのかということが課題として挙がります。</p>					<p>R5からR6年度の取り組み</p> <p>教職員の学校人権研修や、児童生徒の人権教室への参加を通して、人権・道徳意識の高揚を図ります。</p>					

番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和3年度評価				
★52	相談・カウンセリング (子ども家庭課・指導課・生涯学習課)	<p>【子ども家庭課】児童・生徒・保護者がいろいろな問題について気軽に相談できるよう、相談事業の充実を図るとともに、必要であれば、カウンセリングが受けられるよう、関係機関との連携を強化します。</p> <p>子ども家庭課に心理士を配置し、カウンセリング等には至らないが心理的な側面からの相談にも対応できるようにします。</p> <p>【生涯学習課】青少年やその保護者たちが一人で悩まないよう、青少年専門相談員による電話、訪問、窓口での相談の充実を図ります。</p> <p>【指導課】スクールカウンセラーを配置し、支援・相談体制の充実を図ります。</p>										A・B・C・D				
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標			R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標		
相談件数(件)【生涯学習課】		57	—	—	—	—										
相談対応件数(延べ)【子ども家庭課】		18,366	—	—	—	—										
相談件数【指導課】		2,034	→	→	→	→	教育支援センター活用人数(見学・体験含む延べ人数)【指導課】			52	→	→	→	→		
R3年度の現状	子どもや保護者に対して、心理士によるアセスメントや心理的側面からの助言を行いました。また、子どもや保護者が抱える課題等について、より専門的で継続的な支援が必要な場合は、医療機関等関係機関と連携・対応しました。【子ども家庭課】					課題解決のための改善策					心理士によるアセスメントや心理的側面からの助言を活用し、相談・支援体制の充実を図ります。また、カウンセリング希望や必要性がある場合は、適切な機関・部署につなぎます。【子ども家庭課】					
R3年度の現状	カウンセラーによる教育相談を充実させ、学校や関係機関と連携した対応に努めました。【指導課】					相談内容に合わせた対応を進めていけるよう、学校はもとよりスクールソーシャルワーカー等関係機関との連携を強め、支援・相談を進めていきます。【指導課】					個々の相談への対応については、全体的に充実を図ることができましたが、学校や関係諸機関との積極的な連携に課題が残ったため、案内後の状況についても情報提供してもらい、継続的な支援ができるよう努めます。【生涯学習課】					
これまでの課題	SNSの普及や様々な家庭背景等から、子どもや保護者が抱える問題が複雑多岐にわたっています。【子ども家庭課】					R5からR6年度の取り組み					子どもや保護者が生活や家族関係等様々な問題について気軽に相談できるよう、相談事業の充実を図ります。また必要であれば、カウンセリングが受けられるよう、関係機関との連携を強化します。【子ども家庭課】					
これまでの課題	相談内容が多様化し、より主訴に応じた相談をする必要がありました。【指導課】					時代の変化に合わせて相談内容にも変化がみられることが予想されます。さらに柔軟に相談に対応ができるよう、教職員の研修を拡大したり、連携の在り方を検討していきます。【指導課】					より多くの市民に相談の機会を提供できるよう、相談活動の工夫に努めます。また、関係諸機関への案内だけでなく、案内後の状況についても情報提供してもらい、継続的な支援ができるよう努めます。【生涯学習課】					
(2)次代の親の育成																
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和3年度評価				
53	小・中学生職場体験学習 (指導課)	「職場体験学習」の体験先として、乳幼児と小・中学生がふれあう機会を設けます。今後も継続して受け入れを依頼していきます。										A・B・C・D				
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標			R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標		
体験学習先として提供された幼稚園及び保育園の数		0	→	→	→	→	体験学習を含めたキャリア学習を通して満足感を得た児童生徒の割合(%)			70	→	→	→	→		
R3年度の現状	コロナ禍ということもあり、感染の恐れを鑑み、受け入れできる状況ではありませんでした。職場体験だけでなく、家庭で行われているふれあい体験も貴重な機会となっているが、中止となりました。					課題解決のための改善策					職場体験ができない分、職業人を学校に招いて話を聞いたり、職業に対する調べ学習を行ったりして、働くことへの意義を高めます。					
これまでの課題	教員や児童生徒の事業所とのやりとりの難しさ(時間的な制約も含む)や児童生徒や乳幼児の安全面の確保が課題です。					R5からR6年度の取り組み					乳幼児、児童生徒の安全面を確保し、体験内容を精査しながら実施に向けて取り組んでいきます。					
(3)教育環境の充実																
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和3年度評価				
54	保育士研修 (保育課)	保育に関する新しい課題に応じた保育内容や保育手法に関する研修や勉強会を実施し、保育士の資質の向上に努めます。										A・B・C・D				
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標			R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標		
R3年度の現状		年度当初は新型コロナウイルス感染症の影響で研修会が中止となりましたが、後半はオンラインによる研修会に参加し保育士のスキルアップを図りました。					課題解決のための改善策					オンライン研修等の機会を増やします。				
これまでの課題		新型コロナウイルス感染症の影響で研修の機会が減少しています。					R5からR6年度の取り組み					研修を受けられる環境を整え、受講できる機会を増やします。				

番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和3年度評価		
55	子育て支援員研修(子ども家庭課)	地域で保育や子育ての支援活動に関心を持っている方が、活動するための十分な知識や技術を修得していただくために、研修を実施します。										A・B・C・D		
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標			R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標
子育て支援員研修受講者数		44	↑	↑	↑	↑								
R3年度の現状	子育て支援員研修を実施し、地域で保育や子育ての支援活動に関心を持っている方が、活動するための十分な知識や技術を修得する機会を提供しました。					課題解決のための改善策	子育て支援員研修について、LINEやホームページ等を活用し、周知をはかっていきます。							
これまでの課題	子育て支援員研修の参加者を増やす必要があります。					R5からR6年度の取り組み	地域における子育て支援の担い手を確保するために、新型コロナウイルス感染症対策を十分に講じながら、子育て支援員研修を実施します。							
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和3年度評価		
★56	幼児教育に関する研究・研修(指導課)	質の高い幼児教育が望まれているため、幼児教育の目的に応じた適切な指導が行われるよう、その研究・研修活動の支援の一層の充実を図ります。										A・B・C・D		
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標			R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標
保幼小関連研究会回数		3	3	3	3	3	研究会参加人数(延べ人数)			214	→	→	→	→
R3年度の現状	幼児教育の目的に応じた適切な指導や保幼小の接続期における取組について研究・研修活動を行い、支援体制の充実を図ってきました。					課題解決のための改善策	幼児期の発達や幼児期の子どもへの具体的な対応方法等について、公認心理師を招聘し事例研修等を実施することで、幼児教育の目的に応じた適切な指導が行えるように研修を深めていきます。							
これまでの課題	接続期における個に応じたきめ細やかな指導がより一層求められており、幼児期の発達や幼児期の子どもへの具体的な対応の仕方について、研修の必要性が高まっています。					R5からR6年度の取り組み	保幼小の連携を深め、幼児期における目的に応じた適切な指導や、保幼小の接続期における取組の工夫改善に努める等、小学校に円滑に接続できるように研究を進めていきます。							
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和3年度評価		
57	心の教育(指導課)	「特別の教育 道徳」の時間を「要」として、学校の教育活動全体を通じて道徳教育が進められるよう「道徳教育推進研究会」等、学びの機会を広げていきます。										A・B・C・D		
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標			R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標
「特別の教科 道徳」の研究授業を実施させ、実践を積ませる		→	→	→	→	→	道徳教育推進研究会開催			-	→	1	→	→
R3年度の現状	様々な研修会の場で、道徳教育の推進にふれ、学校教育活動全体を通じて道徳教育が進められるように計画しました。「人権教育推進研究会」はコロナウイルス感染症防止のため、中止となりました。					課題解決のための改善策	昨年度は中止になった人権教育推進研究会を、今年度のテーマを「道徳」として開催します。							
これまでの課題	児童生徒の心の悩みが深くなっているため、学校における道徳の授業が一層重要になってきています。そのためより深く考える「特別の教科 道徳」の実践に向けて、教職員の研修の機会を設けることが課題となっています。					R5からR6年度の取り組み	例年実施している「道徳教育推進研究会」のほかに、道徳教育や人権教育を推進するためさまざまな情報の発信をしていきます。							
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和3年度評価		
58	環境教育(指導課)	学校周辺の自然や、校内に設置されたビオトープを利用して、社会・理科・総合的な学習の時間における環境教育の推進を行います。										A・B・C・D		
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標			R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標
環境教育を取り入れている学校数		26	26	27	27	29	研修会への参加			26	26	27	27	29
R3年度の現状	各学校の校内だけでなく、地域と連携をして、環境教育を進めることができました。理科では、ビオトープ周辺の植物の観察や、生活科での身の回りの生き物を見つけることで効果的な学習を行いました。					課題解決のための改善策	各教科を越えて、SDGsの取り組みが進められています。身近にできることを増やしていくことはもちろん、中学生では、地球規模で参加できたりすることを総合学習の時間を通して、見つけていきます。							
これまでの課題	どうやって自然と共生していくかという意識を持たせることや、身近なところから環境を守るという行動にどう結び付けられるかが課題です。					R5からR6年度の取り組み	自然や環境について学んだことを共有し、さらに新聞やレポート、プレゼンテーションを行うことで発信することの大切さを気づかせるような教育を行います。							

番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和3年度評価				
59	国際社会への対応(指導課)	新学習指導要領の改訂による、外国語の教科化や外国語活動の導入に伴い、学級担任を主としたチームティーチングによる授業作りを推進するために全小学校に外国語指導助手と英語活動指導員を配置します。また、外国籍の児童生徒が増加傾向にあります。日本語での日常会話が難しい児童生徒への日本語指導を今後も継続して実施します。										A・B・C・D				
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標				R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	
教師の外国語指導力向上に取り組む		↑	↑	↑	↑	↑	小学校ALTの人数				11	9	11	11	12	
							英語活動指導員及び小学校ALT研修会回数				2	2	2	2	2	
R3年度の現状	流山市として、小学校の外国語活動の定着が図られています。英語を楽しく学ぶ、音から学ぶことを大切に授業作りを行っています。日本語での日常会話が難しい外国籍等の児童生徒への日本語指導の充実を図る必要があります。	課題解決のための改善策				できる限り外国語の授業をパターン化をして、担任の授業内容に対する不安を払拭することが必要です。またクラスルームイングリッシュの引き出しを増やし、使えるようにします。日本語指導については、必要性や魅力を発信し、採用を増やしていきます。										
これまでの課題	ALTや英語活動指導員と担任の連携をとる時間が少なく、授業作りにじつりと向き合うことができていません。日本語指導については、児童生徒の増加に伴い、指導できる先生を確保することが必要です。	R5からR6年度の取り組み				研修会でALTや英語活動指導員のスキルアップをすること、普段の授業作りへのアドバイスを行うことを心掛けていきます。日本語指導については、採用の枠を増やし、児童生徒の増加に対応します。										
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和3年度評価				
60	情報化社会への対応(指導課)	今後予想されるICTの進展に対応するため、新しい機器の調査研究に努め、更なる環境の充実に努めます。また同時にネットモラルに係わる指導も適切に行います。										A・B・C・D				
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標				R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	
教育用コンピュータ1台当たりの児童生徒数(人/台)		1	1	1	1	1	学校及び家庭での端末利用率(%)				100	→	→	→	→	
R3年度の現状	児童生徒への1人1台端末の配布率は100%を達成し、GIGAスクール構想に伴うICT教育の本格的な運用が始まりました。端末の利活用は、学習指導での教材提示や児童生徒同士による思考の共有・比較、オンラインによる児童集会の教室への配信等、多岐に渡るものとなりました。	課題解決のための改善策				今夏、アクセスポイント等の増築及び幹線の増強、インターネット回線を2本に増強する対策を行い、2学期開始からの円滑な学習や業務の運用を行っていきます。										
これまでの課題	校内の教育系ネットワークの帯域幅が狭く、多数の端末で同時にインターネットに接続できない等の通信上の不具合が生じていました。	R5からR6年度の取り組み				今後もタブレット端末の保守や管理、ヘルプデスクの構築、ICT支援員による教職員への支援、校務系と学習系ネットワークの連携の構築などを実施していきます。										
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和3年度評価				
★61	特別支援教育(指導課)	障害のある児童生徒一人ひとりの個性や能力を一層伸ばせるよう、交流教育を積極的に進めます。また、市のカウンセラーや関係機関と連携しながら障害の程度や本人・保護者の願いに沿った就学相談を行い、フォローをしっかりと進めます。										A・B・C・D				
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標				R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	
就学相談件数		413	→	→	→	→	面談を重ね、本人・保護者の願いに沿った就学相談につなげた割合(%)				100	→	→	→	→	
R3年度の現状	障害のある児童生徒一人ひとりの個性や能力を伸ばせるよう教育環境の充実に努めました。より良い就学相談の在り方を目指して業務内容について見直しを図ってきました。	課題解決のための改善策				令和4年度より5月に流山市就学説明会を行い、就学相談を希望している保護者の把握および、スムーズな就学相談を進めます。										
これまでの課題	児童・生徒の増加に伴い相談件数も増加しています。そのため、スムーズに就学相談を行っていくことが課題です。	R5からR6年度の取り組み				障害のある児童・生徒に対して、個に応じた教育課程を編成し、交流学級での学習もより充実させていきます。カウンセラーや関係機関との連携を深め、より適切な就学相談を目指します。										
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和3年度評価				
62	世代間交流(高齢者支援課・保育課)	【高齢者支援課】地区社会福祉協議会、高齢者ふれあいの家等地域において、高齢者と子どもたちとの交流の場の拡大を図ります。世代間交流を通じて、子どもが高齢者と触れ合うことにより、高齢者の生きがいの創出及び子どもの「高齢者を大切にする気持ち」「人のことを思いやる気持ち」を育みます。 【保育課】核家族化が進む中、世代間交流及び地域交流を行うことにより、世代間の隔たりをなくし、子育ての良き理解者を増やすことに努めます。										A・B・C・D				
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標				R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	
地区敬老行事参加者【高齢者支援課】		9,715	→	10,000	11,000	12,000	ふれあいの家での高齢者と子ども達の交流(延実施か所)【高齢者支援課】				61	→	70	75	80	
R3年度の現状	新型コロナウイルスの影響により、敬老行事は会場に参集してのイベントや小中学生の吹奏楽による演奏を行うことが困難でしたが、感染対策を講じ活動を継続するふれあいの家もありました。【高齢者支援課】世代間交流、地域交流をすることはできませんでした。【保育課】	課題解決のための改善策				新型コロナウイルスの感染状況に応じた対策を講じながら、世代間交流の場の提供を図る必要があります。【高齢者支援課】										
これまでの課題	アルコール消毒液・マスクの配布を行い、感染拡大防止に努め、活動が継続できるよう支援しましたがコロナ禍においては、世代間交流は難しい状況にありました。【高齢者支援課】コロナ禍において他者と交流することは難しい状況です。【保育課】	R5からR6年度の取り組み				感染対策を行いながら、ふれあいの家等での世代間交流の活動の場の拡大を図ります。【高齢者支援課】新型コロナウイルス感染症が収束した場合に検討します。【保育課】										

番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和3年度評価	
63	体験学習の推進 (指導課・公民館・博物館)	<p>【指導課】数多くの体験学習の場を設定し、児童生徒の感性を磨き、情操面を養うことに努めます。</p> <p>【公民館】高校や大学、NPO法人など地域の教育資源を活かし、親子で、家族で、達成感が得られるような体験学習の場の創出に努めます。</p> <p>【博物館】博物館子ども教室の内容を充実させて、継続していきます。外部団体等とも協働して、子ども向けの事業を展開していきます。</p>										A・B・C・D	
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標		R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標
体験学習事業所数【指導課】		175	175	176	176	176	体験学習を含めたキャリア学習を通して満足感を得た児童生徒の割合(%) 【指導課】		70	→	→	→	→
博物館子ども教室【博物館】		174	160	200	↑	↑							
開催回数【公民館】		4	↑	↑	↑	↑	延べ参加者数【公民館】		64	↑	↑	↑	↑
R3年度の現状	<p>コロナ禍において、一般事業所での職場体験を行うことはできませんでした。【指導課】          コロナウイルス感染症により定員をこれまでの半数に抑えた形での実施でしたが、目標値を超える参加者がありました。【博物館】          新型コロナウイルス感染症の影響により、定員等の規模の縮小や高校や大学との体験学習の開催が出来ませんでした。【公民館】</p>						課題解決のための改善策	<p>職場体験の課題解決については、事業所との連絡を地域支援コーディネーターに一本化をし、煩雑さを解消します。【指導課】          講座の参加者数には反映されないが、ホームページ上で体験型の「おうちミュージアム」を実施し、家庭でも歴史や自然を学べるメニューを作成します。【博物館】          講座の数を増加させるために、広報や市ホームページ等により情報発信を行い、広く市民に情報提供を行います。【公民館】</p>					
これまでの課題	<p>職場体験については、学校と事業所との連携、体験当日までの準備の煩雑さが挙げられます。【指導課】          コロナウイルス感染症によりハンズオンや密接した講座の実施が困難となり、新たな講座の実施方法を検討する必要があります。【博物館】          市民にチラシ等にて、講座の情報提供があまりできなかったため、申込者数が少なかった事が課題です。【公民館】</p>						R5からR6年度の取り組み	<p>コロナも収まってきて、職場体験を再開する学校も増えつつあります。あらためて児童生徒が自分のキャリアについて考える貴重な体験となるよう、学校(地域支援本部)、事業所が一体となって取り組んでいきます。【指導課】          デジタル化を進めることにより、ハンズオンではない体験ができるよう取り組みを進めていきます。【博物館】          新型コロナウイルス感染症対策を行いつつ、引き続き市のホームページや広報にて市民に周知を行い、地域の教育資源を活かし、体験学習の場の創出に努めます【公民館】</p>					
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和3年度評価	
★64	絵本のふれあい体験の支援 (図書館)	<p>乳幼児や保護者、子育てにかかわる方が、絵本を通してふれあう場をつくることで、これからの子育てに役立つように支援します。また、ブックスタート関連事業「おはなし しゅっぱつしんこう！」として、乳幼児がいつでも、どこでも、色々な絵本を楽しめるように、子育て関連施設へ乳幼児向けおすすめ本セットを設置していきます。 (おはなししゅっぱつしんこう！)</p>										A・B・C・D	
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標		R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標
ブックセット設置施設数		14	14	14	↑	↑	図書館全館(7館)乳幼児(6歳まで)の利用者数		15,648	12,914	21,907	↑	↑
絵本の購入冊数		924	924	922	↑	↑							
R3年度の現状	<p>図書館司書が子どもの成長過程に応じて選んだおすすめの絵本で乳幼児向けのブックセットを製作し、市内に新設された子育て関連施設に設置しました。</p>						課題解決のための改善策	<p>毎年増加する子育て関連施設に対応して事業を継続するため、令和3年度から、新設される子育て関連施設に対象を限ってブックセットを設置します。また、今後の事業のあり方を検討するため、既にブックセットを設置した子育て関連施設にアンケートを実施し、ブックセットの利用状況や要望について調査しました。</p>					
これまでの課題	<p>毎年増加する子育て関連施設に対応して事業を継続することが課題でした。</p>						R5からR6年度の取り組み	<p>引き続き、新設される子育て関連施設にブックセットを設置します。子どもの読書活動を推進し、子どもを取り巻く読書環境の整備を継続的に支援していくため、ニーズに合った長期的な事業のあり方について検討します。</p>					

番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和3年度評価				
65	文化・芸術活動の支援 (公民館・生涯学習課・図書館)	<p>【公民館】地元の文化諸団体の発表の場として、さらに、全国や世界で活躍されているアーティストを招へいし、芸術文化に触れることができる場として、ホールの活性化に努めます。</p> <p>【生涯学習課】子どもたちの文化・芸術活動を活性化するため、市内の文化・芸術活動団体と協働して活動成果を発表する場の提供に努めます。</p> <p>【図書館】ブックスタート関連事業の拡充事業として、乳幼児向け「赤ちゃんおはなし会」を実施し、絵本の他にわらべうたを通じて乳幼児と楽しくコミュニケーションを行う機会を増やします。また、これから整備される(仮称)南流山地域図書館は、子育て支援施設との複合施設になるため、この特性を活かし事業拡充を進めていきます。</p>										A・B・C・D				
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標			R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標		
活動成果を発表する場の確保【生涯学習課】		2	↑	↑	↑	↑	図書館全館(7館)乳幼児(6歳まで)の利用者数【図書館】			15,648	12,914	21,907	↑	↑		
赤ちゃんおはなし会の実施回数【図書館】		38	60	60	↑	↑	参加者数【公民館】			355	↑	↑	↑	↑		
赤ちゃんおはなし会の参加人数【図書館】		326	1,330	900	↑	↑										
R3年度の現状	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、文化芸術事業が中止となるなか、著名なアーティストを文化会館に招へいし、子育て中でなかなか生かす音楽を聴くことができないという方々を対象にした子育てコンサート(曾根麻央・いかがコンサートメンバー)を令和3年度は開催しました。【公民館】市民ギャラリーにおいて、市内中学校生徒の作品展及び流山少年少女俳句大会優秀作品展を実施しました。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により、青少年健全育成推進大会の atrakションとして出演依頼を予定していた市内小学校吹奏楽部の演奏が中止となりました。【生涯学習課】中央図書館、南流山分館、おおたかの森子ども図書館で、新型コロナウイルスの感染防止対策を取りながら、できるだけ赤ちゃんおはなし会を実施しました。【図書館】</p>					課題解決のための改善策	<p>引き続き、新型コロナウイルス感染症対策を行いつつ、流山市の広報やホームページ等で、子育て中の方に情報提供を行います。【公民館】検温や消毒液の設置、会場内の換気など、感染症対策を講じながら事業を実施します。【生涯学習課】参加人数に定員を設ける等の新型コロナウイルスの感染防止対策を取りながら、赤ちゃんおはなし会を実施します。【図書館】</p>									
これまでの課題	<p>新型コロナウイルス感染症対策にて、事前申込制とし定員を文化会館のホールの半数で実施したため、参加をお断りする事もありました。また、子育て中の方の申込みが少なかったです。【公民館】</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により、感染症対策を講じながら、事業を実施する必要があります。【生涯学習課】</p> <p>人との距離を確保できる会場がないため、赤ちゃんおはなし会を実施できなかった館もありました。【図書館】</p>					R5からR6年度の取り組み	<p>新型コロナウイルス感染症対策を行いつつ、地域の文化諸団体の発表の場として、さらに芸術文化に触れることができる場としてホールの活性化に努めます。【公民館】引き続き、子どもたちが活動成果を発表できる場の提供に努めます。【生涯学習課】引き続き、赤ちゃんおはなし会の開催によって言葉や絵本への興味を育む機会の充実に努め、乳幼児向けの読書活動をより一層推進していきます。【図書館】</p>									
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和3年度評価				
66	各種スポーツ・レクリエーション大会・教室 (スポーツ振興課)	今後も各種スポーツイベントを実施し、子どもたちがいつでもどこでもスポーツに親しめる環境づくりを継続します。										A・B・C・D				
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標			R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標		
コミュニティスポーツフェスティバル、コミュニティスポーツのつどい、流山市スポーツレクリエーション祭、流山ロードレース大会(ファンラン含む)の参加者数(合計)		1,231	→	→	→	→	スポーツで健康・体力の維持・増進を行っている市民の割合(%)			35	↑	↑	↑	↑		
R3年度の現状	<p>昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響によりコミュニティスポーツフェスティバルは中止となってまいりましたが、流山ロードレース大会はオンラインで開催し、ながれやまスポーツフェスタは人数を制限して開催するなど、コロナ禍におけるスポーツ振興に寄与することができました。</p>					課題解決のための改善策	<p>安心安全なイベント開催のため、感染症対策を十分に取れる運営方法を検討します。</p>									
これまでの課題	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、例年実施している流山ロードレース大会やコミュニティスポーツフェスティバルが開催できないことが課題となりました。</p>					R5からR6年度の取り組み	<p>社会情勢を鑑み、再開できるイベントについては感染症対策を取ったうえで実施し、家族・友人とスポーツを楽しむ機会を提供し、今後もコロナ禍のスポーツ振興について模索していきます。</p>									
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和3年度評価				
67	学童クラブと保育所の交流 (保育課・教育総務課)	【保育課】【教育総務課】保育所から小学校進学に伴う学童クラブへの円滑な移行を図るため、必要な情報交換・交流を行います。										A・B・C・D				
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標			R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標		
R3年度の現状	<p>近隣の保育所の外遊びのために、学童クラブの園庭を開放しました。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の流行により、学童クラブ利用児童と保育園児の交流は避ける必要がありました。利用児童に対する情報共有は、学校と行うことが殆どです。【教育総務課】学童クラブとの情報共有はできませんでした。【保育課】</p>					課題解決のための改善策	<p>どのような情報共有や交流ができるか検討をしていきます。【教育総務課】</p>									
これまでの課題	<p>対象年齢、保育時間、運営方法の違い、個人情報の問題等があり、交流や情報共有が難しい状況にあります。【教育総務課】</p> <p>保育時間帯に違いがあること、コロナ禍にあることなど交流が難しい状況にあります。【保育課】</p>					R5からR6年度の取り組み	<p>引き続き、交流の強化、情報共有、連携強化に努めます。</p> <p>学童クラブ園庭の開放を今後も実施します。【教育総務課】</p> <p>対象年齢や保育時間帯の相違があることから、どのような事柄について情報共有、情報交換していくかを検討します。【保育課】</p>									

番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和3年度評価		
68	私立幼稚園への支援(保育課)	私立幼稚園との情報共有や市民への園情報の提供などを行い、私立幼稚園を支援し、園との連携を深めます。										A・B・C・D		
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標			R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標
R3年度の現状														
これまでの課題							課題解決のための改善策							
(4)家庭の教育力の向上														
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和3年度評価		
★69	家庭教育講座(公民館)	親が子どもの発達段階に応じた家庭教育の方法を身につけられるよう、専門の講師による講座等を開催します。さらに、企画運営への市民の参加を推進します。 ・乳幼児期の家庭教育講座 ※(3)思春期保健対策の充実に資する番号48「性と生の教育の充実」を包括した事業展開をしているため、番号48は削除し番号69と統合したうえで実績を計上。										A・B・C・D		
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標			R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標
小中学校の講座実施回数		13	↑	↑	↑	↑	小中学校の講座参加者数			2,453	↑	↑	↑	↑
乳幼児期の講座実施回数		54	↑	↑	↑	↑	乳幼児期の講座参加者数			1,063	↑	↑	↑	↑
R3年度の現状		新型コロナウイルス感染症のため、学校が休校するなど企画運営への市民参加の活動が行えない地区があり、ほとんど学校で小中学校の保護者を対象とした開催となりました。乳幼児期の講座は、助産師、栄養士、保健師等を講師に迎え、定員を減らし、室内の換気や手指消毒等感染症対策を行いながら開催しました。双子等の講座ではサロン形式にし、講師に気軽に聞けるような取組みを行いました。					課題解決のための改善策			新型コロナウイルス感染拡大防止に努めながら、引き続き市内各小中学校のPTAから選出された家庭教育準備委員と生涯学習専門員が講座を企画・運営し、親が子どもの発達段階に応じた家庭教育の方法を身につけられるよう、専門の講師による講座等を地域の公民館等を利用するよう提案し開催します。乳幼児期の家庭教育講座も引き続き定員を減らし専門の講師による講座等を開催します。				
これまでの課題		新型コロナウイルス感染症のため、家庭教育講座を開催出来ない学校もあったため、保護者の抱える問題を一緒に学習出来るようにしたいです。					R5からR6年度の取組み			新型コロナウイルス感染症の拡大防止に努めながら各小中学校・小学校のPTAから選出された家庭教育準備委員と協力し、性と生の教育等の講座の企画・運営を提案しながら、全校の講座開催に取り組みます。				
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和3年度評価		
70	子育てサロン(公民館)	乳幼児期の子どもを持つ方の交流の場を提供します。保育ボランティア、地域ボランティア等の協力により事業を展開します。 ・双子や三つ子のために「さくらんぼくらぶ」を実施 ・子育てサロンの実施										A・B・C・D		
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標			R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標
開催回数		34	↑	→	↑	↑	延べ参加者数			499	↑	↑	↑	↑
R3年度の現状		新型コロナウイルス感染症対策の影響で事前申込みによる定員等の規模の縮小を行いました。つづ、さくらんぼくらぶ3回、ひだまりサロン20回、南流山ほかほかサロン11回開催しました。					課題解決のための改善策			引き続き、市のホームページにて対象者の市民に情報提供を行います。保育ボランティアやおもちゃ修理ボランティアなどに協力いただき、参加しやすい開催に努めます。				
これまでの課題		定員を設けての開催でしたので、参加をお断りする場合があります。子育て中の親の不安感や孤立感が増大しないように、開催することに努めました。					R5からR6年度の取組み			新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、子育てサロンの対象者に周知を行い、新しい企画に取り組み子育て中の親の不安感や孤立感を解消できるように、交流の場を提供します。				

(5)地域活動の充実														
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和3年度評価		
71	地域子ども活動の支援 (生涯学習課)	各種団体等の活動を青少年健全育成団体による事業を通して、子ども同士や子どもと地域の大方々の交流が図れるよう、各種団体の活動をに対し積極的な支援します。に努めます。 ~めさせ!あそびの達人~ → チャレンジゲーム → チャレンジゲーム										A・B・C・D		
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標			R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標
青少年健全育成補助金交付団体数		4	→	→	→	→								
R3年度の現状	創作・野外活動等を行う「めさせ!あそびの達人」、学校や学年が異なる子ども同士が交流する「チャレンジゲーム」、「親子たこあげ大会」などを実施する青少年健全育成団体に補助金を交付しました。					課題解決のための改善策		屋外事業を中心に実施するほか、屋内事業については検温や消毒液の設置、会場内の換気など、各団体は感染症対策を講じながら事業を実施します。						
これまでの課題	新型コロナウイルス感染症の影響により、各団体は感染症対策を講じながら、事業を実施する必要があります。					R5からR6年度の取り組み		引き続き、青少年健全育成団体の活動を支援するため、補助金を交付します。						
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和3年度評価		
72	ボランティアの育成・推進 (生涯学習課・コミュニティ課)	【生涯学習課】中学・高校生を中心としたジュニアリーダーを育成している子ども会育成連絡協議会の活動を支援します。 【コミュニティ課】市民活動団体の運営・活動の支援に努めます。										A・B・C・D		
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標			R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標
市民活動団体の相談件数【コミュニティ課】		20	50	60	70	80	市民活動推進センターの団体登録件数【コミュニティ課】			203	205	220	230	240
ジュニアリーダー初級講習会参加人数(人) 募集人数(人)【生涯学習課】		30	30	→	→	→	子ども会育成事業費補助金交付額(千円)ジュニアリーダー初級講習会参加人数(人)【生涯学習課】			28	30 →	→	→	→
R3年度の現状	市民活動推進センターの運営を通じ、ICTを活用した活動発表の動画配信や双方向で意見交換可能となるオンラインフェスタを開催し、コロナ禍における市民活動団体支援の新しい形の実現に取組みました。また、令和4年度以降の市民活動推進センターの運営管理業務委託の事業者選定にあたり、サウンディング調査を踏まえたプロポーザル方式を採用し、相談機能拡充など費用対効果を高めた仕様により事業者を選定することができました。【コミュニティ課】 中学生、高校生を中心としたジュニアリーダーを育成するため、初級講習会を開催する子ども会育成連絡協議会の活動を支援するため、補助金を交付しました。【生涯学習課】					課題解決のための改善策		市民活動団体、市民、行政、企業など様々な主体との連携を図り、地域課題解決にあたっての総合相談窓口としての機能を有するなど、新たな仕様に基づく市民活動推進センターの運営管理業務委託を通じ、課題解決に努めます。【コミュニティ課】 屋外事業を中心に実施するほか、屋内事業については検温や消毒液の設置、会場内の換気など、協議会は感染症対策を講じながら事業を実施します。【生涯学習課】						
これまでの課題	多種多様な地域課題の解決に際して、市民活動団体、市民、行政、企業などが連携し取り組んでいくための支援体制構築が課題となっています。【コミュニティ課】 新型コロナウイルス感染症の影響により、協議会は感染症対策を講じながら、事業を実施する必要があります。【生涯学習課】					R5からR6年度の取り組み		市民活動団体連携イベントの実施、効果的な媒体活用による団体の情報発信力強化、伴走型支援の充実により、市民活動団体の運営・活動支援に取組みます。【コミュニティ課】 引き続き、子ども会育成連絡協議会の活動を支援するため、補助金を交付します。【生涯学習課】						

番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和3年度評価				
73	少年スポーツ団体の育成(スポーツ振興課)	子どものスポーツを通じた体力の向上と仲間作りのため、指導者、団体の育成を図ります。(少年野球連盟・少年サッカー連盟・スポーツ少年団) また、ジュニアスポーツ団体指導者は毎年入れ替わることから、今後もジュニア期の正しいトレーニング方法の普及に努めていきます。										A・B・C・D				
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標				R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	
少年スポーツ指導者講習会参加者数		60	→	→	→	→	学校開放利用参加者数(人)				443,624	→	→	→	→	
R3年度の現状	ジュニアスポーツの指導者に対して、正しいトレーニング方法や、子どもとの接し方について、プロのトレーナーを招いて講習をおこないました。					課題解決のための改善策					より多くのジュニアスポーツ指導者に参加していただくため、学校開放利用団体や市内中学校部活動指導者に参加を依頼します。					
これまでの課題	ジュニアスポーツ指導者に対し、正しいトレーニング方法の普及に努めていく中で、実際に現場で指導に当たっている指導者の方に講習会に広く参加していただくことが課題です。					R5からR6年度の取り組み					実技を伴う講習や、子どものメンタル面に関する講習など、新しい視点での講習会を実施することにより、より多くのジュニアスポーツ指導者に参加を促します。					
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和3年度評価				
74	児童館・児童センターの活用(子ども家庭課)	子どもの居場所、遊びの場となる児童館・児童センターにおいて、利用者の意見を取り入れたイベント等を通じての仲間づくりや、また利用したいと思う企画の充実を進めます。また、インクルージョンの考え方を取り入れながら、地域における子育ての支援の拠点となるよう事業推進に努めます。										A・B・C・D				
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標				R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	
							児童館・児童センター利用者(数)				96,490	↑	↑	↑	↑	
R3年度の現状	コロナウイルス感染症対策を徹底し、初めて来館の親子も自由に遊べる場として「あそびの広場」を実施し、職員も加わり親子の友達づくりのサポートを行いました。また、自宅でも児童館・児童センターの行事に参加できるように、オンライン配信による行事等を行いました。					課題解決のための改善策					児童館・児童センターの事業について、LINEやホームページ等を活用し、周知を図っていきます。					
これまでの課題	各児童館・児童センターにおいて感染症対策を講じながら、利用者の意見を取り入れたイベント等を実施し、利用者を増やしていく必要があります。					R5からR6年度の取り組み					感染対策を徹底し、これまでの対応を継続していきながら、自宅でも児童館・児童センターの行事に参加できるオンライン配信による行事等の充実を図り、地域における子育て支援の拠点となるよう事業の推進に努めます。					
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和3年度評価				
75	学校体育施設の利用(スポーツ振興課)	子どもの地域活動の場として、校庭、体育館等、学校施設の開放を進めていきます。										A・B・C・D				
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標				R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	
学校体育施設開放校数		25	→	26	→	→	学校開放利用参加者数(人)				443,624	→	450,000	↑	↑	
R3年度の現状	新型コロナウイルス感染症対策を講じながらの学校施設開放の継続しました。チェックシートの内容に沿うよう感染症対策を講じながら、国や県の動向に注視し、安全・安心の学校開放利用の継続に努めています。					課題解決のための改善策					引き続き、新型コロナウイルス感染症の最新情報に注視し、学校と連携を取りながら感染症対策を講じ、学校施設開放の継続に努めていきます。					
これまでの課題	新型コロナウイルス感染症対策を講じながらの安全・安心の学校施設開放の継続が課題です。					R5からR6年度の取り組み					新型コロナウイルス感染症対策のみならず、新設校でのスムーズな学校施設開放により学校開放利用参加者数の増加を目指し、スポーツ振興に努めます。					
(6)子どもを取り巻く有害環境対策の推進																
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和3年度評価				
76	青少年相談(生涯学習課)	青少年やその保護者たちが一人で悩まないよう、青少年専門相談員による電話、訪問、窓口での相談の充実を図ります。 ※46, 52, 118に同相談業務を掲載										A・B・C・D				
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標				R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	
相談件数(件)		57	-													
R3年度の現状	相談者が相談しやすい雰囲気づくりや丁寧な聞き取り等で相談活動の充実を図っていますが、相談窓口の性質上、どうしても待ちの状況になりがちです。また、市内でも色々な相談窓口があるので、区別化が難しいのが現状です。					課題解決のための改善策					個々の相談への対応については、全体的に充実を図ることができましたが、学校や関係諸機関との積極的な連携に課題が残ったため、案内後の状況についても情報提供してもらい、継続的な支援を可能にするよう努めます。					
これまでの課題	相談者の悩みの解決が図れるよう、相談内容によって関係諸機関を案内していますが、案内までに留まりがちなので、確実に繋いでいけるよう連携を強化していく必要があります。					R5からR6年度の取り組み					より多くの市民に相談の機会を提供できるよう、相談活動の工夫に努めます。また、関係諸機関への案内だけでなく、案内後の状況についても情報提供してもらい、継続的な支援を可能にしていきます。					

番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和3年度評価				
77	街頭補導活動 (生涯学習課)	青少年健全育成及び非行防止のため、保護者をはじめ市民を対象に啓発を行い、地域・家庭の教育力の向上を図り、同時に関係機関と連携しながら青少年にとって有害な社会環境の浄化を推進し、街頭等でのパトロールを実施します。青少年健全育成及び非行防止のため、地域や子どもたちの実態に合わせ、計画的に適切なパトロールを実施します。										A・B・C・D				
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標				R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	
街頭補導活動実施回数(回)		564	→	→	→	→	街頭補導従事者延べ人数(人)				1,752	→	→	→	→	
R3年度の現状	街頭補導活動による地域での見守りを多くすることで、青少年が不良化、非行化することのないよう早期発見し、注意助言を行いました。					課題解決のための改善策					研修を通じて青少年の心に対する認識を深め、パトロール活動に活かします。					
これまでの課題	子どもたちへのあいさつ程度に留まっていたため、積極的な声かけをするように改善する必要があります。					R5からR6年度の取り組み					委嘱替えに伴い、補導員数を増やし活動の充実を図ります。					
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和3年度評価				
78	有害図書等の調査 (生涯学習課)	青少年健全育成及び非行防止のため、有害な社会環境の整備を推進し、街頭、店舗等でのパトロールを実施します。 ※79に統合										A・B・C・D				
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標				R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	
							店舗調査・店舗利用状況調査対象店舗数(店)					→				
R3年度の現状						課題解決のための改善策										
これまでの課題						R5からR6年度の取り組み										
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和3年度評価				
79	青少年ふれあい運動 (生涯学習課)	青少年健全育成及び非行防止のため、保護者をはじめ市民を対象に啓発を行い、地域・家庭の教育力の向上を図り、同時に関係機関と連携しながら青少年にとって有害な社会環境の浄化を推進します。										A・B・C・D				
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標				R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	
実行委員会・実行活動実施回数(回)		3	→	→	→	→	実行委員会参加人数(人)				453	→	→	→	→	
							店舗調査・店舗利用状況調査対象店舗数(店)				99	→	→	→	→	
R3年度の現状	地区活動実行委員会を開催し、青少年の健全育成と非行防止のため、実行委員会による店舗利用状況調査、協力要請、情報共有、地区活動の実施計画等を通じて、青少年の社会環境浄化に取り組みしました。					課題解決のための改善策					関係諸機関との連携を強化しながら、地区活動がより具体化するようさらに充実させます。					
これまでの課題	行政リードの活動になりがちのため、地域を主体とした活動に課題がありました。					R5からR6年度の取り組み					中学校区を中心とした、地域主体の活動の整備を充実させます。					
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和3年度評価				
80	青少年主張大会 (生涯学習課)	青少年が日頃考えている抱負や意見を発表し、を通して広く伝えることで、青少年への理解と関心を深めます。										A・B・C・D				
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標				R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	
青少年主張大会運営事業費(千円)発表者(人)		9	→	15	→	→	発表者を含む青少年主張大会来場人数(人)				0	↑	400	↑	↑	
R3年度の現状	市内の中学校、高等学校等から発表者を募集し、文化会館で青少年の抱負や意見を多くの聴衆者に聞いていただく予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、高等学校からは応募がなく、また、当日は無観客開催となりました。					課題解決のための改善策					検温や消毒液の設置、会場内の換気など、感染症対策を講じながら事業を実施します。					
これまでの課題	新型コロナウイルス感染症の影響により、感染症対策を講じながら、事業を実施する必要があります。無観客開催となったことから、各中学校にライブ配信を行いました。					R5からR6年度の取り組み					青少年が抱負や意見を発表できる場、青少年への理解と関心を深める場として、引き続き、事業を実施していきます。					

番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和3年度評価		
81	非行防止活動等ネットワークづくり (生涯学習課)	青少年の健全育成及び非行防止を図るために、関係団体を支援し、かつ関係団体との連携を深めることで、活動の充実を図ります。										A・B・C・D		
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標			R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標
学校警察連絡協議会の開催(回)		4	→	→	→	→								
R3年度の現状	学校警察連絡協議会を開催し、学校と警察で情報交換や研修会等を実施し、生徒指導等に活かせるよう、協議会の充実を図りました。(新型コロナウイルス感染症の影響で1回目は書面開催。)					課題解決のための改善策		学校と警察相互の情報交換や共有がさらに充実するよう、協議会のあり方を工夫したり、研修会の内容を充実させることで、青少年の健全育成事業に役立てます。						
これまでの課題	コロナ禍により、学校と警察で情報交換や研修会等を実施する機会が激減しました。					R5からR6年度の取り組み		状況に応じて、感染症対策等に配慮しながら情報交換や共有の機会を増やします。						
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和3年度評価		
82	青少年育成会議への活動支援 (生涯学習課)	青少年育成会議による様々な活動の支援に努めます。 -青少年健全育成推進大会 -親子たこあげ大会 -青少年健全育成啓発活動-※71に統合										A・B・C・D		
主な成果指標		R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標			R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標
							青少年育成団体連携事業費補助金交付額(千円)				→			
R3年度の現状						課題解決のための改善策								
これまでの課題						R5からR6年度の取り組み								

基本目標4 子どもの安全を守る生活環境・体制づくり

(1)安全なまちづくりの推進

番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和3年度評価				
83	歩道の整備 (道路建設課)	歩行者の安全性向上のため、現在行っている新設・改良工事において歩道整備等を行います。歩道の整備等においては、交通弱者といわれる方々に配慮した道路整備に努めています。										AⓐBⓐCⓐD				
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標				R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	
歩道整備実績件数(件)		4	→	↓	→	→	快適に移動できる道路網の整備がされていると感じている市民の割合(%)				71	↑	↑	↑	↑	
R3年度の現状	歩道の整備等においては、交通弱者といわれる方々に配慮した道路整備に努めています。令和3年度実績として、名都借跨線橋道路拡幅改良工事、新設小学校道路改良工事、中野久木(市道207号線)道路改良工事、西平井(市道239号線)道路改良工事の4件の工事で歩道の整備を行いました。					課題解決のための改善策		歩行者の安全性向上のため、新設・改良工事において該当箇所があれば適切に対応していきます。								
これまでの課題	各工事では、学校活動や近隣住民の方々の生活に支障が生じないよう、あるいは最小限に留められるよう最大限配慮する必要があります。					R5からR6年度の取り組み		令和5年度には前ヶ崎交差点(市道250・251号線)改良工事、鷺ヶ崎(市道107号線)交差点改良工事、令和6年度には三輪野山(市道39016号線)道路改良工事を予定しています。								

番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和3年度評価				
84	公共施設の整備 (関係各課)	既存の公共施設については、子どもをはじめすべての市民が安全で利用しやすいよう整備に努めます。また、新たに公共施設を建設する際には、ユニバーサルデザインの観点から建設を推進します。										AⓐBⓐCⓐD				
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標				R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	
-							市内の駅や道路や施設等がバリアフリーになっていると感じる市民の割合(%) (まちづくり達成度アンケート)				81.2	↑	↑	↑	↑	
R3年度の現状	流山市立地域図書館・南流山児童センターの整備において、ユニバーサルデザインはに配慮した施設となるよう整備を進めました。					課題解決のための改善策										
これまでの課題						R5からR6年度の取り組み		おおたかの森小学校地区の児童数の増加に対応するため、新設小学校を建設するにあたって、ユニバーサルデザインの観点から建設を推進します。								

番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和3年度評価				
★85	公園の整備・充実 (みどりの課)	子どもが遊びを通して、健やかに成長できるよう、防犯面にも配慮した公園等の遊び場の整備・充実を図ります。公園施設の長寿命化計画を策定し、公園遊具施設の更新をはじめとした公園等の維持管理を計画的に行います。										AⓐBⓐCⓐD				
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標				R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	
							公園緑地で憩い安らげると感じている市民の割合(%)				84	79.9	87	↑	↑	
R3年度の現状	既存公園の遊具を始めとした公園施設の安全点検・補修・更新を行いました。また、既存公園の遊具新設・更新を行いました。					課題解決のための改善策		既存公園の遊具を始めとした公園施設の安全点検結果を踏まえて、更新・補修を行いました。								
これまでの課題	公園を安全・快適に利用していただくため、老朽化してきている遊具施設等の補修を計画的に行う必要があります。					R5からR6年度の取り組み		既存公園の遊具を始めとした公園施設の安全点検を行います。また、公園施設長寿命化計画に基づき、既存公園施設の改修を行います。								

番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和3年度評価				
86	駅施設の整備 (まちづくり推進課)	鉄道事業者と連携して、駅施設の利便性向上を推進します。										AⓐBⓐCⓐD				
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標				R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	
初石駅施設整備事業(駅東側から改札にアクセス可能とするための駅舎橋上化及び自由通路整備)の事業進捗率(事業費ベース:%)		2	12	35	99	100	公共交通機関の利用について満足と感じる市民の割合(まちづくり達成度アンケート:%)				83.1	76.0	84	85.0	86.0	
R3年度の現状	橋上駅舎及び自由通路の実施設計に着手し、東口駅前広場の実施設計及び西口駅前広場の基本設計を完了しました。また、橋上駅舎及び自由通路の工事着手に向け、東武鉄道株式会社と継続的に協議しました。					課題解決のための改善策		計画的に事業を進めるため、東武鉄道株式会社と綿密に協議し、徹底したスケジュール管理を行います。								
これまでの課題	橋上駅舎及び自由通路の工事着手にあたり、物件補償及び用地取得を速やかに進める必要があります。					R5からR6年度の取り組み		橋上駅舎及び自由通路の工事、東口駅前広場の工事、西口駅前広場の工事を行います。								

番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和3年度評価	
87	住環境の整備 (都市計画課・建築住宅課)	良好な住環境の維持、形成を図るため、地区計画や建築協定など、住民主体によるまちづくりを推進します。【都市計画課】 建築協定の締結に向けて協議をしていきます。【建築住宅課】										A・B・C・D	
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標		R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標
							良好な市街地が形成・維持されていると感じている市民の割合(%)		83.8	76.5	77.0	77.5	78.0
R3年度の現状	地区計画や地区街づくり計画、大規模開発行為の手続きなどの運用により、住民主体による街づくりを推進しました。						課題解決のための改善策	窓口において案内資料等を用いて迅速かつ丁寧な説明を心掛けます。また、届出等の手続きについては、郵送で行うことも可能とするなど、状況に応じて柔軟な対応ができるよう努めます。					
これまでの課題	関係法令及び条例に基づく届出等について、指導及び審査業務の効率化が求められています。						R5からR6年度の取り組み	景観シンポジウムを開催し、市民等が景観を形成する主体として、自らの果たすべき役割について理解を深め、興味を抱けるよう啓発を図ります。					
(2)安心して外出できる環境の整備													
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和3年度評価	
★88	防犯対策の充実 (コミュニティ課)	防犯対策及び防犯の広報啓発に努めます。										A・B・C・D	
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標		R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標
市内の防犯カメラ設置数(台)		115	115	135	155	175	刑法犯認知件数(件)		778	950	750	750	750
自主防犯パトロール隊の組織数(団体)		72	75	73	74	75							
R3年度の現状	防犯カメラの必要な箇所を警察と協議後に設置し、地域の犯罪抑止に努めました。市民安全パトロール隊や自主防犯パトロール隊と協力し、地域の見守り活動に努めました。						課題解決のための改善策	新設した自治会に自主防犯パトロール隊が設立できるように努めます。					
これまでの課題	自主防犯パトロール隊の設立や加入数を、今後どのように増やしていくかが課題となっています。						R5からR6年度の取り組み	今後も犯罪抑止のため必要な箇所に防犯カメラを設置していきます。また、警察や関係機関と連携し、地域の見守り活動を継続して行い犯罪被害の未然防止に努めます。					
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和3年度評価	
89	防犯灯の整備 (コミュニティ課)	防犯灯を整備し、夜間における通行者の安全確保に努めます。										A・B・C・D	
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標		R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標
新規設置防犯灯数(灯)		403	400	400	400	400	刑法犯認知件数(件)		778	950	750	750	750
R3年度の現状	各自治会へ防犯灯の新規設置及び不具合の際の連絡方法を記載した防犯灯マニュアルを作成・配布し、各自治会のご協力のもと防犯灯の新規設置及び不点灯等の不具合への対応を行うことができました。						課題解決のための改善策	市民からの情報を元に、老朽化や腐食が進んだ防犯灯や支柱については随時交換していきます。					
これまでの課題	平成27年度にLED灯へ一括交換した防犯灯が今後、老朽化や腐食が進んでいくことが課題となっています。						R5からR6年度の取り組み	防犯灯マニュアルに基づき自治会のご協力をいただきながら防犯灯の新規設置及び不点灯等の不具合への対応を行います。					
(3)子どもの交通安全を確保するための活動の推進													
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和3年度評価	
90	通学区域内の交通安全施設整備 (道路管理課・学校教育課)	通学路における危険箇所の改善や安全施設の設置等、交通安全対策を図ります。										A・B・C・D	
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標		R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標
通学路合同点検箇所数 【道路管理課・学校教育課】		93	→	↓	↓	↓							
R3年度の現状	例年5月に実施している通学路合同点検に加え、7月～8月に通学路緊急一斉点検を実施しました。【道路管理課・学校教育課】						課題解決のための改善策	通学路における危険箇所について関係機関と現地点検を行い、路面標示、カラー舗装及びラバーボール等の設置・補修を行いました。【道路管理課】 警察、道路管理課など関係機関と現地点検を行い、児童生徒が安全安心に登下校できるように対策を講じました。【学校教育課】					
これまでの課題	各学校から通学路における危険箇所を集約し、通学路安全対策推進会議にて危険箇所について協議し決定します。【道路管理課・学校教育課】						R5からR6年度の取り組み	引き続き、通学路の危険箇所の改善と安全施設の新設及び維持管理を行います。【道路管理課】 対策箇所については効果の検証を行い、引き続き通学路の安全対策を講じていきます。【学校教育課】					

番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和3年度評価				
91	交通安全教室の充実 (道路管理課)	幼稚園・保育所、小学校等において交通安全教室を開催し、交通事故防止に努めます。										A・B・C・D				
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標				R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	
交通安全教室の開催件数		0	↑	↑	↑	→										
交通安全啓発DVDの貸出件数		6	↑	↑	↑	→										
R3年度の現状	新型コロナウイルス感染症の影響により、実技指導による交通安全教室の開催ができず、交通安全教育のDVDの貸し出しを中心に行いました。					課題解決のための改善策	ホームページの改訂や電子申請システムにより、申請方法を分かりやすくすることで、交通安全教室や交通安全啓発DVDの申し込みが増え、交通事故防止につながるよう努めます。									
これまでの課題	DVDの貸し出しのみも行っているという認知度が低く、申請方法も少し分かりづらかったため、貸出件数の大幅な増加につながりませんでした。					R5からR6年度の取り組み	新型コロナウイルス感染症の状況を注視しながら、交通安全教室の開催や交通安全啓発DVDの貸出を充実させ、交通事故防止に努めます。									
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和3年度評価				
92	チャイルドシートの貸出 (道路管理課)	チャイルドシート・ジュニアシートを貸出し、車両乗車中の交通事故による被害の軽減に寄与します。										A・B・C・D				
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標				R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	
チャイルドシート稼働率(乳幼児用)		33	→	→	→	→										
チャイルドシート稼働率(児童用)		58	→	→	→	→										
R3年度の現状	乳幼児用チャイルドシートの貸し出しは、毎月30%前後の稼働率で推移し、利用者の利便性の向上と乳幼児の安全確保に努めました。					課題解決のための改善策										
これまでの課題						R5からR6年度の取り組み	引き続き、チャイルドシートやジュニアシートを貸し出し、車両乗車中の交通事故による被害の軽減に寄与します。									
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和3年度評価				
93	交通安全教室の普及・啓発 (道路管理課)	市内小中学校を対象に、交通安全意識の向上を図ります。また、新1年生を対象に、ランドセルカバーを配布する等、普及・啓発に努めます。										A・B・C・D				
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標				R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	
ランドセルカバー配布枚数		2,650	→	→	→	→										
R3年度の現状	年4回開催されている交通安全期間において啓発に努め、毎年新1年生を対象にランドセルカバーの配布を行いました。					課題解決のための改善策	流山警察や交通安全協会をはじめとする関係団体と協力し、新型コロナウイルス感染症の状況を考慮しながら、可能な範囲で啓発活動を行い、交通安全意識の向上を図ります。									
これまでの課題	新型コロナウイルス感染症の影響により、イベントや啓発活動に制限がかかり、以前と比較すると、十分な活動が行えませんでした。					R5からR6年度の取り組み	毎年増加している小中学生に対し、広く交通安全意識の向上を図れるよう、より効果の高い啓発活動を実施していきます。特に、入学したばかりで分からないことが多い新1年生に対しては、引き続きランドセルカバーの配布や交通安全教室等を通じて、交通安全意識の普及・啓発に努めます。									
(4)子どもを犯罪等の被害から守るための活動の推進																
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和3年度評価				
★94	関係機関、団体との情報交換 (コミュニティ課・保育課)	【コミュニティ課】子どもたちが事故や犯罪に遭わないまちづくりを推進するため、防犯灯の設置、警察、学校、自治会等関係機関・団体と連携し、地域ぐるみによる地域安全活動の充実を努めます。 【保育課】子どもの安心安全の確保を図るため、警察等の関係機関との連携を強めていきます。										A・B・C・D				
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標				R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	
新規設置防犯灯数(灯) 【コミュニティ課】		420	400	400	400	400	刑法犯認知件数(件) 【コミュニティ課】				778	950	750	750	750	
流山市学校警察連絡協議会(回) 【コミュニティ課】		4	4	4	4	4										
R3年度の現状	子どもたちが事故や犯罪に遭わないまちづくりを推進するため、防犯灯の設置をしました。その他、警察、学校、自治会等関係機関・団体と連携し、地域ぐるみによる地域安全活動の充実を努めました。【コミュニティ課】					課題解決のための改善策	市民からの情報を元に、老朽化や腐食が進んだ防犯灯や支柱については随時交換していきます。【コミュニティ課】 不審者等の情報について速やかに保育園に提供し児童の安全を確保します。【保育課】									
これまでの課題	平成27年度にLED灯へ一括交換した防犯灯が今後、老朽化や腐食が進んでいくことが課題となっています。【コミュニティ課】					R5からR6年度の取り組み	引き続き関係機関と連携し、地域ぐるみによる地域安全活動の充実を努めます。【コミュニティ課】 子どもの安心安全の確保を図るため、引き続き関係機関との連携を強めていきます。【保育課】									

番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和3年度評価		
95	安全マップ等の作成(指導課)	安全マップや通学路マップ等を作成し、子どもが安心・安全に生活できるよう情報提供を図ります。										A・B・C・D		
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標			R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標
地域マップ・危険箇所マップ作成数		26	26	27	27	27	地域マップ・危険箇所マップ作成数			26	26	27	27	27
R3年度の現状	安全マップ、通学路マップは、各学校で地域の実情に応じて作成して安全教育に利用しました。					課題解決のための改善策		安全マップや通学路マップを作成し、児童生徒・地域に周知して安全・安心の学校作りに役立てます。						
これまでの課題	各学校で作成したマップは、地域にも周知し、安全・防災に活用することが課題です。					R5からR6年度の取り組み		安全マップや通学路マップを作成し、児童生徒・地域に周知して安全・安心の学校作りに役立てます。						
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和3年度評価		
96	自主防犯活動の支援(コミュニティ課)	各自治会等で実施する防犯活動や地域に設立された自主防犯パトロール隊の活動を支援します。										A・B・C・D		
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標			R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標
防犯啓発用品購入費(円)		628,111	650,000	650,000	650,000	650,000	刑法犯認知件数(件)			778	950	750	750	750
R3年度の現状	装備品の貸与支援を行っている自主防犯パトロール隊の活動により、市内の刑法犯認知件数は減っており、効果がみられます。					課題解決のための改善策		自主防犯パトロール隊への支援として貸与する装備品等については、限られた財源の中で費用対効果が高く、使い勝手の良い装備品を検討していきます。						
これまでの課題	各自治会や自主防犯パトロール隊ごとの支援ニーズが多様化してきています。					R5からR6年度の取り組み		引き続き、自主防犯パトロール隊への支援として装備品を貸与します。						
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和3年度評価		
★97	安全管理の促進(コミュニティ課・保育課・指導課)	<p>【コミュニティ課】市民の安全管理を図るため、啓発活動を推進します。(安心メールの発信・犯罪発生状況の提供)</p> <p>【保育課】子どもの安全管理を促進するために、職場内研修を定期的実施し、職員と保護者・関係機関との情報共有に努めます。</p> <p>【指導課】様々な災害、事故、犯罪に対して児童生徒の安全を確保していくために、今後も継続した学校等への啓発活動を実施します。</p>										A・B・C・D		
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標			R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標
安心メール(防犯)配信実績(件)【コミュニティ課】		118	90	90	90	90	犯罪に関して市内(自宅周辺)は安全だと感じる市民の割合(%)【まちづくり達成度アンケート】【コミュニティ課】			63.1	61.0	61.0	61.0	61.0
R3年度の現状	警察や関係機関と連携し、市内の犯罪発生状況等を安心メールで配信したほか、各自治会へ回覧依頼し、犯罪防止に努めました。【コミュニティ課】災害に備え定期的に避難訓練や不審者等に対応するための職場内研修を実施しました。【保育課】児童生徒の安全を確保するために、学校等へ安全管理の啓発を行いました。【指導課】					課題解決のための改善策		安心メールの登録推進について、市内公共施設へチラシの配架や登録相談会を実施することにより登録推進に努めます。【コミュニティ課】不審者情報等の対応について速やか情報を発信し、児童の安全確保に努めます。また、定期的な研修を実施します。【保育課】様々な災害、事故、犯罪に対して児童生徒の安全を確保していくために、学校等への啓発活動を行い、迅速に情報を共有します。【指導課】						
これまでの課題	安心メール登録者を今後、どのように増やしていくかが課題となっています。【コミュニティ課】様々な災害、事故、犯罪に対して児童生徒の安全を確保していくために、様々な事態に迅速に対応することが必要です。【指導課】					R5からR6年度の取り組み		警察や関係機関と連携し、市内の犯罪発生状況などを自治会等へ提供して犯罪防止に努めます。【コミュニティ課】子どもの安全管理を促進するために、職場内研修を定期的実施し、職員と保護者・関係機関との情報共有に努めます。【保育課】様々な災害、事故、犯罪に対して児童生徒の安全を確保していくために、学校等への啓発活動を行い、迅速に情報を共有します。【指導課】						

番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和3年度評価				
98	防犯体制の充実 (コミュニティ課)	流山警察署をはじめとする関係機関及び防犯団体等と連携し、防犯体制の充実を図ります。										A・B・C・D				
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標				R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	
防犯協定(新規締結)事業者数		1	1	1	1	1	刑法犯認知件数(件)				778	950	750	750	750	
自主防犯パトロール隊の組織数(団体)		72	75	73	74	75										
R3年度の現状	業務で市内を循環する事業者と警察との防犯協定の締結など、様々な取組みの相乗効果により地域防犯力が向上し、刑法犯認知件数は減っています。					課題解決のための改善策		新設した自治会に自主防犯パトロール隊が設立されるよう啓発・情報提供に努めます。								
これまでの課題	自主防犯パトロール隊の設立や加入数を、今後どのように増やしていくかが課題となっています。					R5からR6年度の取り組み		警察や関係機関と連携し、市内の犯罪発生状況などを自治会等へ提供して事業の継続を図り、犯罪防止に努めます。								
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和3年度評価				
99	防犯に関する普及啓発活動 (コミュニティ課)	安心メール等を活用し、防犯の啓発を行います。										A・B・C・D				
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標				R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	
安心メール登録者数(実人数)		41,025	40,000	45,000	50,000	55,000	犯罪に関して市内(自宅周辺)は安全だと感じる市民の割合(%) (まちづくり達成度アンケート)				64.0	61.0	65.0	65.0	65.0	
R3年度の現状	新型コロナウイルス感染症の影響により講習会や各種イベントが中止になり、啓発活動の機会は減少しましたが、広報、各公共施設での配架、福祉施設への配架、安心メール登録相談会、職員への周知等を実施しました。					課題解決のための改善策		安心メールの登録推進について、市内公共施設へチラシの配架や出張登録会及び登録相談会を実施することにより登録推進に努めます。								
これまでの課題	安心メール登録者数を今後、どのように増やしていくかが課題となっています。					R5からR6年度の取り組み		引き続き、安心メールのチラシ配布の継続、消費センターや出張登録会及び登録相談会での安心メール登録方法の説明、防犯協定事業者との安心メール周知に努めます。								
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和3年度評価				
100	保護者・地域との連携による防犯活動 (指導課)	保護者や地域、学校が連携し、「防犯協力の家」の設置や「学校付近のパトロール活動」 <b>登下校の見守り</b> を行うなど、 <b>防犯子どもたちの安全を守る</b> 活動を推進します。										A・B・C・D				
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標				R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	
地域学校協働本部の数		9	9	10	10	10	登下校の見守り活動				↑	↑	↑	↑	↑	
R3年度の現状	各中学校区に設置されている地域学校協働本部に登録されているの学校サポートボランティアが、登下校の見守りを行っています。					課題解決のための改善策		令和3年度より、中学校区ごとにコミュニティ・スクールの導入が始まっているので、学校運営協議会にて登下校の安全についても議論をしようとともに、地域学校協働本部との連携も推進していきます。								
これまでの課題	登下校の見守り活動については、人員の確保が課題となっています。					R5からR6年度の取り組み		地域や関係機関と学校が連携し、登下校の見守り活動を行っていきます。								

基本目標5 男女がともに仕事と子育てを両立できる環境づくり														
(1)多様な働き方のできる環境の整備														
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標									令和3年度評価			
101	就労環境改善への支援(商工振興課)	少子高齢化に伴う労働力不足を補うために必要な短時間労働や在宅ワークをはじめとする国の制度改革を促進させるため、事業者への周知に努めます。									AⓐBⓑCⒸD			
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標			R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標
R3年度の現状		国の施策である「働き方改革」やテレワークを推進するため、ホームページ等で事業者への周知に努めました。					課題解決のための改善策		国などで実施する「働き方改革」への支援や各種情報について、ホームページ等で引き続き周知に努めます。					
これまでの課題		新型コロナウイルス感染症が長期化したことで、テレワークやデジタル化など非接触型の働き方を導入する企業が増えました。それにより、仕事と生活が両立ができるワークライフバランスへの配慮が必要となります。					R5からR6年度の取り組み		引き続き国の支援をはじめ、各種情報をホームページ等での周知に努めます。					
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標									令和3年度評価			
102	就職情報の提供(商工振興課)	ハローワークとの連携により、生活安定のための必須施設として利用促進に努めます。									AⓐBⓑCⒸD			
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標			R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標
相談室利用件数		3,779	3,300	3,700	3,700	3,700	就職件数			257	250	250	250	250
職業紹介件数		1,687	1,700	1,700	1,700	1,700								
R3年度の現状		R3年度は、世界的な新型コロナパンデミックの影響を受け、企業経営が厳しいものとなりました。緊急事態宣言などの影響により、解雇、雇い止めなどが増加し、さらには、企業の採用も減少することで求職者には厳しい環境となりました。					課題解決のための改善策		新型コロナウイルス感染症の収束に期待する一方、ウクライナ情勢、円安、物価高による影響など企業側にも新たな問題がありますが、今後の動向を注視し、求職者に対する支援に支障が生じないよう努めます。					
これまでの課題		新型コロナウイルス感染症等の影響により正規採用の求人が減少したこともあり、非正規雇用を選択する求職者が多く見られ、就職者の中で正規雇用が減少しています。					R5からR6年度の取り組み		引き続きハローワークと連携を図り、ジョブサポート流山(流山市地域職業相談室)で、求職者への就労支援を継続するとともに、今後の動向に注視して、タイムリーで効果的な支援に努めます。					
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標									令和3年度評価			
103	就職・再就職のための職業研修(商工振興課・企画政策課)	【商工振興課】働き方改革の進展に伴い、正規雇用化に向けた取り組みや就職困難者及び外国人雇用に関する支援を行うため、体制を強化し、市民が安定した生活を送るための支援に努めます。 【企画政策課】就職、再就職を希望する女性を対象として、年齢層に即した講座を開催します。									AⓐBⓑCⒸD			
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標			R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標
就職個別相談相談者数【商工振興課】		110	80	100	100	100	就職個別相談就職者数【商工振興課】			89	70	80	80	80
女性のキャリア形成支援講座実施回数(回)【企画政策課】		全3回	1	2	2	2	女性のキャリア形成支援講座参加人数(人)【企画政策課】			延べ39	→	40	40	40
R3年度の現状		R3年度は、就職個別相談に就職氷河期世代コースを新設し、就労支援の強化を図りました。千葉県ジョブサポートセンターと連携した再就職支援セミナー、働き方改革講座において「女性のための就職支援セミナー」を開催する等支援に努めました。【商工振興課】新型コロナウイルス感染症の影響により、募集定員を縮小して実施しましたが、予定通りに講座を開催し啓発することが出来ました。【企画政策課】					課題解決のための改善策		新型コロナウイルス感染症の収束に期待する一方、ウクライナ情勢、円安、物価高による影響など企業側にも新たな問題がありますが、今後の動向を注視し、求職者に対する支援に支障が生じないよう努めます。【商工振興課】新型コロナウイルス感染症の影響により増加している、オンライン面接でのマナーやポイントなど、新しい情報を盛り込んだ講座内容としました。【企画政策課】					
これまでの課題		引き続き新型コロナ禍にあり、解雇や休職による収入減を副業で補填するため、非正規雇用を希望する求職者が増加しています。正規雇用を目指す求職者にとっては、有効求人倍率も低迷し、厳しいものとなっています。【商工振興課】新型コロナウイルス感染症の影響により、再就職を希望する女性の状況は困難と感じ、不安に思っている声がありました。【企画政策課】					R5からR6年度の取り組み		どのような環境にあっても就労支援は無くしてはならない事業であることから、引き続き求職者への支援を行うとともに、今後の動向を注視し、タイムリーで効果的な支援に努めます。【商工振興課】再就職に向けての対応だけでなく、就職後の家族や子どもとの関わり方を含めた内容とし、受講者の不安を取り除く講座の開催に努めます。【企画政策課】					

(2)仕事と子育ての両立の推進													
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標								令和3年度評価			
104	男女共同参画社会づくり (企画政策課)	男女とも多様な生き方が尊重され、誰もが個性や能力を十分に発揮できる男女共同参画社会の実現のため、流山市男女共同参画プランに基づき、施策の展開を図ります。 ・男女共同参画社会づくりの啓発講座								A・B・C・D			
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標		R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標
男女共同参画啓発講座の実施回数(回)		18	18	18	18	18	男女が平等に扱われていると思う市民の割合(%)		43.5	45.0	45.0	45.0	45.0
							審議会等委員に女性委員が占める割合(執行機関を除く附属機関等)(%)		40.4	39.0	40.0	40.0	40.0
R3年度の現状	新型コロナウイルス感染症の影響により、啓発講座の募集定員を縮小して実施となりましたが、予定通りに講座を開催し啓発することが出来ました。成果指標の男女が平等に扱われていると思う市民の割合は微減となりましたが、新型コロナウイルス感染症による大きな影響はなかったと考えています。						課題解決のための改善策		審議会等の委員公募の際に、担当課が女性委員の比率向上を図る対策等を意識する仕組みとして、委員構成に合わせた対応を明確にする調書作成を依頼します。				
これまでの課題	令和2年度実績で、審議会等の女性委員の比率は目標値に達していなかったが、令和3年度実績は、目標値を上回る結果となりました。						R5からR6年度の取り組み		男女の性別に関わりなく多様な生き方を理解し尊重する施策の構築に取組むとともに、その周知を行います。担当課において、審議会等の女性委員の比率向上対策を実施します。				
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標								令和3年度評価			
105	育児への父親の参加 (子ども家庭課・企画政策課・公民館)	【子ども家庭課】父親が育児に参加できる機会を提供するために、今後も父親が参加しやすいイベントを企画します。 【企画政策課】父親が育児の知識や技術を身につける機会を提供するため、各種教室、講座を開催します。また、父親の参加しやすい環境づくりに努めます。 【公民館】父親の育児参加、祖父母の育児参加、地域の子育て力のアップなどを考慮し、講座の企画充実に努めます。								A・B・C・D			
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標		R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標
男性を対象とした講座実施回数(回) 【企画政策課】		1	1	1	1	1	男性を対象とした講座参加人数(人) 【企画政策課】		14	→	14	14	14
開催回数【公民館】		2	↑	↑	↑	↑	父親を含む参加者数【公民館】		10	↑	↑	↑	↑
R3年度の現状	地域子育て支援センターにおいて、父親も参加できるように、土曜日フロア開放等を実施してもらいました。【子ども家庭課】新型コロナウイルス感染症の影響により定員を縮小し、父親限定の講座として募集を行いました。【企画政策課】第一子、1才以下の子育て中の父親を対象に、子育てパパのセミナーみそ作りと具だくさんみそ汁(離乳食作り)講座を開催しました。また、子育てコンサートを実施し、音楽を楽しみながら父親も子育てに参加出来る場の提供を行いました。【公民館】						課題解決のための改善策		まずは、父親が参加しやすいように、土曜日のフロア開放を実施しました。また、イベントは、父親が参加しやすい内容を検討し、実施していきます。【子ども家庭課】広報やホームページおよびチラシでの周知だけでなく、子育て世代向けのSNSを利用し周知を行いました。【企画政策課】子育てしている父親と子どもが一緒になって参加出来る事業、祖父母が育児に積極的に参加を促す事業に努めます。【公民館】				
これまでの課題	子育て関連イベントは、父親が参加しづらい雰囲気があるので、父親も参加しやすいように、イベント内容等を工夫していく必要があります。【子ども家庭課】これまでの親子や夫婦での講座としていたので、父親限定の講座を初めての試みとしました。【企画政策課】子育てしている父親と子どもが一緒になって参加出来る事業、祖父母が育児参加出来る事業の開催ができませんでした。【公民館】						R5からR6年度の取り組み		引き続き、父親が育児に参加できる機会を提供するために、父親が参加しやすいイベントを企画します。【子ども家庭課】今後も、周知方法の拡大を図るなど、啓発講座参加をきっかけとした子育て世代の繋がりに努めます。【企画政策課】引き続き、子育てパパのセミナー等を開催し、父親の育児参加しやすく講座の企画充実に努めていきます。【公民館】				
(3)保育サービスの充実と多様化													
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標								令和3年度評価			
★106	延長保育 (保育課)	就労形態の多様化や、通勤時間の長時間化に対応できるよう、保育時間の延長及び延長保育実施園の拡大を図ります。								A・B・C・D			
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標		R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標
延長保育を実施している施設数		91	91	100	100	100							
R3年度の現状	延長保育を実施しました。						課題解決のための改善策						
これまでの課題							R5からR6年度の取り組み		新設の保育所について延長保育の実施を推進します。				

番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和3年度評価		
107	小規模保育 (子ども家庭課)	0歳から2歳までの保育需要の状況を踏まえ、今後も小規模保育事業所の整備を進めます。										A・B・C・D		
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標			R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標
整備定員数		18	38	-	-	-	待機児童数※翌年度4月1日時点(人)			3	0	0	0	0
R3年度の現状	多様な保育ニーズに対応するため、中部地区に1施設新たに小規模保育事業所を整備しました。					課題解決のための改善策		多様な保育ニーズに対応するべく、一般的な保育のみならず、子育て相談や一時預かり、延長保育など、バリエーションを持たせた保育施設の整備を引き続き進めていく必要があります。						
これまでの課題	待機児童ゼロを達成できませんでした。一般的な保育のみならず、子育て相談や一時預かり、延長保育など、バリエーションを持たせた保育施設の整備を引き続き進めていく必要があります。					R5からR6年度の取り組み		質の高い保育を提供する小規模保育事業所、多様な保育ニーズに対応出来る小規模保育事業所の整備に努めます。また、保育需要が変化していることから、様々な要因を勘案したうえで整備を行います。						
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和3年度評価		
108	一時保育 (保育課)	保護者の病気等により、一時的に保育が必要な場合に対応できるよう、一時保育の充実を図ります。										A・B・C・D		
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標			R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標
R3年度の現状		一時保育を行う保育所に補助金を交付し、一時保育の充実を図りました。					課題解決のための改善策							
これまでの課題						R5からR6年度の取り組み		継続して補助金の交付を行います。						
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和3年度評価		
109	産休明け保育 (保育課)	女性の就労の促進を図るため、産休明け保育の充実に努めます。										A・B・C・D		
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標			R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標
R3年度の現状		令和3年度に開設した新規保育施設の多くが産休明けから受け入れ可能となりました。					課題解決のための改善策							
これまでの課題						R5からR6年度の取り組み		今後開設される保育施設についても産休明けからの受け入れを働きかけ、保護者の選択肢を増やします。						
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和3年度評価		
★110	病児・病後児保育 (保育課)	病気中及び病気回復期の乳幼児を一時的に預かる事業を推進します。										A・B・C・D		
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標			R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標
病児及び病後児保育実施園数		4	4	→	→	→	利用者数(延べ人数)			72	200	→	→	→
R3年度の現状	コロナ禍により利用制限があったため利用者が減少しました。					課題解決のための改善策		情勢を見ながら、事業者と受け入れ基準を検討します。						
これまでの課題	コロナ禍における病児の受け入れについて検討を重ねる必要があります。					R5からR6年度の取り組み		利用実績や情勢を見ながら病児保育事業の実施箇所を検討します。						

番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和3年度評価		
111	休日保育 (保育課)	社会状況をや利用者からの保育ニーズを踏まえ、休日保育の実施を検討します。										A・B・C・D		
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標			R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標
R3年度の現状		認可保育園においては休日保育の実施は行っていません。					課題解決のための改善策							
これまでの課題		休日に開園するためには保育士の確保と配置が課題となります。					R5からR6年度の取り組み			利用者からのニーズを踏まえ引き続き検討します。				
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和3年度評価		
★112	障害児保育 (児童発達支援センター・保育課)	【児童発達支援センター】保育所等を利用しているお子さんや施設の職員に対して、集団生活適応のため専門のスタッフが直接的、間接的な支援を行います。保育所等訪問支援、並行通園を行います。 【保育課】保育所を利用する園児がお互いの理解を深め協力しながらも育ていけるよう、統合保育や児童発達支援センターにおける保育所等訪問支援事業の推進に努めます。また、医療的ケア児受入体制の整備に努めます。										A・B・C・D		
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標			R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標
児童発達支援センター保育所等訪問支援契約者数		0	2	2	→	→	延べ利用人数			0	48	→	→	→
統合保育の実施園数【保育課】		1	1	→	→	→								
R3年度の現状		【保育所等訪問支援】感染状況をみながら支援を検討していたため、令和3年度においては利用につながる方はいませんでした。【児童発達支援センター】コロナの影響もあり統合保育の申し込みがありませんでした。【保育課】					課題解決のための改善策			【保育所等訪問支援】感染状況をみながら障害児の身体及び精神の状況、属する環境等を適切に評価し、効果的な支援につながるよう努めていきます。【児童発達支援センター】コロナ禍においても安全に受け入れができるように感染対策を行います。医療的ケア児について国の補助制度を活用し、受入体制の整備を行います。【保育課】				
これまでの課題		【保育所等訪問支援】感染状況が不安定なため、開始に至らず利用者がいませんでした。					R5からR6年度の取り組み			支援の必要なお子さんが保育所等でも生活しやすくなるために、保育所等訪問支援の利用を推進に努めます。【児童発達支援センター】統合保育のあり方について検討を行います。医療的ケア児について国の補助制度を活用し、受入体制の整備を行います。【保育課】				
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和3年度評価		
★113	学童クラブの活用 (教育総務課)	児童の受け入れ体制を拡充します。市主催の支援員研修を開催するほか、各種研修会への参加支援に努め、質の向上を図ります。										A・B・C・D		
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標			R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標
研修会開催件数		1	2	1	2	2	学童クラブの延べ利用人数			26,499	30,000	30,000	30,000	30,000
							支援員の処遇改善のために支払った額(千円)			26,992	20,000	27,000	27,000	27,000
R3年度の現状		令和3年度の学童クラブの延べ利用者数は26,499人で令和2年度の利用者数26,186人と比較して313人増えています。今後も利用者数は増加する見込みです。今年度は処遇改善臨時特別事業を行い、キャリアや職種に関わらず支援員の賃金改善を行いました。					課題解決のための改善策			学童クラブ支援員等の質の向上のため、市主催で研修を開催するほか処遇改善のため、経験等に応じて支援員に対する処遇改善のための支払いを行っていきます。				
これまでの課題		学童クラブに従事する職員の数も増えているため、職員の質が下がらないようにする必要があります。					R5からR6年度の取り組み			新型コロナウイルス感染症の影響により昨年の研修開催は1回でしたが、機会を捉えて引き続き研修を行います。また、各処遇改善事業についても引き続き事業を進めていきます。				
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和3年度評価		
114	子育て短期支援(ショートステイ・トワイライトステイ) (子ども家庭課)	保護者が疾病や出産等により家庭での養育が困難となった場合に、児童を一時的に市が指定する施設で預かります。										A・B・C・D		
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標			R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標
ショートステイ利用者数(日帰り・夜間)		131	→	→	→	→								
ショートステイ利用者数(宿泊)		67	→	→	→	→								
R3年度の現状		新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者数は減少していますが、保護者の疾病や出産の利用の他、レスパイトを理由とした対応や休日の仕事等の利用に対応しました。					課題解決のための改善策			ショートステイの手続きがわかりやすくなるように、ホームページ等を活用し、案内を行います。				
これまでの課題		家庭での養育が困難となった方々の支援となるように、手続き等をわかりやすくする必要があります。					R5からR6年度の取り組み			引き続き、家庭で養育が困難となった場合に、宿泊を含めた一時的な預かりの利用に、対応していきます。				

基本目標6 保護が必要な子どもへの支援体制づくり

(1)児童虐待防止対策の充実													
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標								令和3年度評価			
★115	子ども家庭支援拠点(支援拠点事業) (子ども家庭課)	子育てに問題を抱える家庭を支援していくために、専門職を配置した支援拠点の整備に努めます。								A・B・C・D			
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標		R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標
心理担当支援員の配置		3	3	4	4	4							
R3年度の現状	心理担当支援員3名体制(会計年度任用職員を含む)で心理アセスメントや、心理的側面から子ども及び保護者の支援を行いました。						課題解決のための改善策	児童虐待予防のため、心理担当支援員による適切な親子関係形成のための支援を図ります。					
これまでの課題	SNSの普及や様々な家庭背景等から、子どもへの適切な関わり方に困難を抱える家庭が増加しています。						R5からR6年度の取り組み	心理担当支援員以外の専門職の配置も図り、様々な課題を抱える家庭の問題に対応できるように努めます。					

番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標								令和3年度評価			
116	児童虐待防止の啓発 (子ども家庭課・指導課)	<p>【子ども家庭課】児童虐待の早期発見や未然防止を図るため、関係機関の連携を強化し、啓発活動に努めます。 ・パンフレットの配布 ・ホームページ・広報紙等の活用</p> <p>【指導課】児童虐待の早期発見や未然防止を図るため学校や保護者への啓発活動に努め、関係機関との連携強化に努めます。</p>								A・B・C・D			
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標		R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標
啓発活動の実施(パネル展示) 【子ども家庭課】			1	→	→	→							
啓発活動の実施【指導課】		2	2	→	→	→	学校の虐待対応の迅速化【指導課】		↑	→	→	→	→
R3年度の現状	児童虐待の早期発見や未然防止を図るため、11月の児童虐待防止推進月間に南流山センターにてパネル展示を行いました。また、関係機関の会議等にて、児童虐待対応について説明し、協力を依頼しました。【子ども家庭課】 国、県から発出される通知について、学校内で共有し、必要に応じて学校だよりやホームページを通じて情報発信するように各学校に指導しました。【指導課】						課題解決のための改善策	広報紙やホームページ等を活用した啓発活動を行うほか、児童虐待の進行及び未然防止のため関係機関と連携し活動していきます。【子ども家庭課】 要対協での情報共有を大切にし、そこで得た情報を早期に対応できるようにします。【指導課】					
これまでの課題	保護者及び関係機関に児童虐待に係る知識等が十分に周知されず、児童への不適切な言動が生じたり、早期介入に至らないケースがあります。【子ども家庭課】 各連携機関との連携を密に図り、情報共有ができる場をより多く作るようにします。【指導課】						R5からR6年度の取り組み	児童虐待の早期発見や未然防止を図るため啓発活動に努めると共に、関係機関との連携を強化するため、児童虐待防止や対応に係る知識・理解の向上を図ります。【子ども家庭課】 虐待を発見しやすい立場にある教職員の「見る目」を養うとともに、虐待が明らかになった場合の関係機関との連携について、日ごろから体制を整えていくよう学校に指導していきます。【指導課】					

番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標								令和3年度評価			
★117	虐待予防と早期発見 (健康増進課・子ども家庭課・保育課)	<p>【健康増進課・子ども家庭課】相談、健診、訪問指導等あらゆる機会における児童虐待の予防と早期発見に努めます。また、必要な児童に対しては、関係機関と連携し、支援の強化を図ります。さらに、育児ストレスや産後うつなどにより、子育てに不安を抱える家庭や虐待の恐れのある家庭に対して、保健師等の家庭訪問や、ヘルパーの派遣により、育児負担の軽減や諸問題の解決を図ります。</p> <p>【保育課】保育所と関係機関が連携し、指導・助言を行うなど、今後も未然防止に努めます。</p>								A・B・C・D			
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標		R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標
新規児童虐待受付件数 【子ども家庭課】		676	—	—	—	—							
養育支援家庭訪問(実数) 【健康増進課】		7	→	→	→	→	産後77利用者アウトで、利用目的に対する達成が満足とやや満足の回答割合【健康増進課】		91%	100%	→	→	→
産後ケア利用者数(実数の合計) 【健康増進課】		22	→	22	22	22							
R3年度の現状	母子健康手帳交付時に面談し、支援が必要と思われる方に、妊娠初期から支援を行うと同時に、産後ケア等の情報提供を行い、切れ目のない支援を実施することで、育児ストレスや産後うつ等の不安を抱える家庭の児童虐待の予防に努めています。また、健診や乳児家庭全戸訪問等で支援が必要な家庭を把握し、養育支援家庭訪問等を実施し育児の支援をしています。 令和2年度から引き続き、新型コロナウイルス感染症対策緊急助成事業の一環として育児支援等サービスの助成を行い、産後のサポートを行い育児負担の軽減を図りました。【健康増進課】 児童虐待の予防や早期発見のため、健康増進課の定例会議に参加し、家庭状況や支援方針について共有したほか、子ども及び家庭への適切な支援に向け、役割分担を行いました。【子ども家庭課】						課題解決のための改善策	次年度も引き続き、支援が必要な方を早期に把握し、適切な情報提供や支援を実施するとともに、関係機関と連携し、児童虐待の予防に努めます。 妊娠前から産後も切れ目なく支援できるように、妊娠・育児サポート係を設置します。令和2・3年度に新型コロナウイルス感染症対策緊急助成事業として実施した育児支援等サービスの利用の助成は、支援が必要な方が利用しやすい制度となるよう内容や実施方法を見直しました。【健康増進課】 児童虐待の予防や早期発見のため、子ども及び家庭に関する機関・部署と定期的に情報共有し、早期発見・早期対応に努めます。【子ども家庭課】 緊急で保育が必要な児童について関係機関と協議し、情報共有及び適切な保育の提供に努めます。【保育課】					
これまでの課題	要支援家庭が増加傾向にあるため、タイムリーに関わりを持てる様、他機関との連携の強化と妊娠からの支援が必要です。【健康増進課】 児童虐待の予防や早期発見・進行防止のため、より迅速な判断や適切な役割分担が求められるケースが増加しています。【子ども家庭課】						R5からR6年度の取り組み	引き続き妊娠中から産後も切れ目のない支援を実施し、より身近な地域で相談、支援が実施できるように、南流山センターに子育てなんでも相談室(子育て世代包括支援センター)を設置し、保健センターと地区を分割して支援していきます。【健康増進課】 児童虐待の予防や早期発見のため、子ども及び家庭に関する機関・部署と定期的に情報共有し、早期発見・早期対応に努めます。【子ども家庭課】 緊急で保育が必要な児童について関係機関と協議し、情報共有及び適切な保育の提供に努めます。【保育課】					

番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和3年度評価		
★118	虐待に関する相談の充実 (子ども家庭課・生涯学習課・指導課)	<p>【子ども家庭課】職員等の専門性のスキルアップを図り、家庭児童相談員及びケースワーカーによる児童虐待に関する相談や指導を行いながら、緊急避難体制づくりや啓発事業を推進します。</p> <p>【生涯学習課】青少年相談窓口については、関連団体等の連携に努めます。</p> <p>【指導課】教育相談から得られる情報を関係機関と共有し、相談体制や啓発事業の充実を図ります。</p>										A・B・C・D		
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標			R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標
児童福祉司資格取得講習受講者数【子ども家庭課】		2	1	1	2	2	児童福祉司任用資格取得者数【子ども家庭課】			5	5	6	7	7
R3年度の現状	県や民間団体が主催する研修・講習会に積極的に参加し、スキルアップを図りました。また、広報紙やホームページを利用し、様々な相談先・方法を案内しました。【子ども家庭課】 教育相談においては丁寧な聞き取りを行った上で面談要保護児童対策地域協議会に出席し、関係機関との連携強化を図りました。【指導課】	課題解決のための改善策					研修・講習会に積極的に参加し、児童虐待に適切に対応できるよう職員の専門性やスキルアップに努めます。また、広報紙やホームページ等により、相談先を啓発します。【子ども家庭課】 スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーとの情報共有を密にしながら教育相談を丁寧実施するとともに、要保護児童対策地域協議会での情報を共有し、関係機関との連携を強化し適切な対応に努めます。【指導課】							
これまでの課題	SNSの普及や様々な家庭背景等から、子どもや保護者が抱える問題が複雑多岐にわたっています。【子ども家庭課】 スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、市教委の情報共有を密に行う必要があります。【指導課】	R5からR6年度の取り組み					研修・講習会に積極的に参加し、児童虐待に適切に対応できるよう職員の専門性やスキルアップに努めます。また、積極的に啓発事業の推進を図ります。【子ども家庭課】 今後も関係機関と情報を共有しながら、迅速に対応し、連携をさらに深めて適切な対応に努めます。【指導課】							
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和3年度評価		
★119	児童虐待防止のための連携強化 (障害者支援課・健康増進課・児童発達支援センター・子ども家庭課・保育課・指導課)	児童虐待に対応するため、要保護児童対策地域協議会を中心として、民生児童委員、主任児童委員などの地域住民や医療機関、また児童相談所、警察等の関係機関との連携の強化を図ります。										A・B・C・D		
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標			R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標
個別支援会議の開催【子ども家庭課】		60	↑	↑	↑	↑	児童の安全確認実施率(%)【子ども家庭課】			99	↑	↑	↑	↑
要保護児童対策地域協議会への参加【障害者支援課】		12	12	12	12	12	関係機関との連携強化【障害者支援課】			↑	↑	↑	↑	↑
要保護児童対策地域協議会実務者会議等に出席し関係機関との連携をとって情報共有を図ります【児童発達支援センター】		12	→	12	12	12	関係機関との情報共有を図り、児童とその家族への支援の強化【児童発達支援センター】			12	→	↑	↑	↑
要保護児童対策地域協議会の参加回数【健康増進課】		12	12	12	12	12								
子ども家庭課とのケース検討会議の回数【健康増進課】		9	12	12	12	12								
R3年度の現状	児童虐待の通告があった際には、関係機関の協力のもと速やかに児童の安全確認を行いました。また、要保護対策地域協議会での個別支援会議や関係機関への訪問等により、子どもや保護者等と関りのある機関・部署と連携し、児童虐待の進行予防や対応を行いました。【子ども家庭課】 要保護児童対策地域協議会や子ども家庭課とのケース検討会議に参加し、情報共有を図り、関係機関との連携に努めました。【健康増進課】 要保護児童対策地域協議会及び個別支援会議へ参加し、情報共有や支援方針の確認、役割分担等を行いました。【障害者支援課】 要保護児童対策地域協議会実務者会議等に出席し関係機関との情報共有を図りました。また児童虐待が疑われる当センターを利用している児童について、子ども家庭課と情報共有を図り当該家族の支援に繋がりました。【児童発達支援センター】 児童生徒の生命を守ることを最優先に考え、関係機関との連携強化を図りました。【指導課】	課題解決のための改善策					関係機関等へ要保護児童対策地域協議会の活動理解を深め、児童虐待に対して迅速な対応が行なえるよう努めます。また、個別支援会議を積極的に活用し、関係機関との連携を強化します。【子ども家庭課】 児童虐待に対応するため、要保護児童対策地域協議会に出席し、地域住民や医療機関、また児童相談所、警察等の行政機関との連携の強化を図り、支援体制の構築に努めます。【健康増進課】 緊急時のみに留まらず情報共有を行い、支援方針を確認しながら協力体制をとっていきます。【障害者支援課】 オンラインを使った会議の開催など可能な方法を検討していきます。【児童発達支援センター】 今後も関係機関と情報を共有しながら、迅速に対応し、連携をさらに深めることにより、適切な対応ができるように努めます。【指導課】							
これまでの課題	要保護児童対策地域協議会の活動理解が乏しく、児童虐待の通告や連携に時間を要することがありました。【子ども家庭課】 児童虐待の対応件数は増加傾向にあるため、今後も関係機関と連携をし、迅速かつ適切に支援を行う必要があります。【健康増進課】 支援を行った個別ケースの情報共有については、これまでも緊急の対応を行った時等必要に応じて情報提供・情報共有を行っていましたが、継続的な協力体制を保つていくことが課題と感じています。【障害者支援課】 関係者が一堂に集まってケースについて話し合う個別支援会議について、新型コロナウイルス感染症の感染状況や業務上の都合により一堂で集まる機会を持つことに難しさがあり、関係機関ごとの対応になりやすかった。【児童発達支援センター】 児童生徒の生命を守るために、学校、他機関と連携を取りながら迅速に対応する必要があります。【指導課】	R5からR6年度の取り組み					関係機関の会議等に積極的に参加し、要保護児童対策地域協議会の機能や役割について周知を図ると共に、民生児童委員、主任児童委員などの地域住民や医療機関、また児童相談所、警察等の関係機関との連携の強化を図ります。【子ども家庭課】 引き続き医療機関や児童相談所、警察等の行政機関との連携の強化を図り、支援体制の構築に努めます。【健康増進課】 継続して会議等に出席し、対象児童に関する情報や支援方針を確認するとともに、適宜支援状況について報告を行います。【障害者支援課】 今後も関係機関との連携を図りながら情報共有を図り、迅速かつ効果的な対応ができるように努めます。【児童発達支援センター】 定例で開催される要保護児童対策地域協議会実務者会議にて各関係機関と情報交換、連携を図ります。【保育課】 今後も関係機関と情報を共有しながら、迅速に対応し、連携をさらに深めて適切な対応に努めます。【指導課】							

番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和3年度評価				
★120	社会的養育の推進 (子ども家庭課)	虐待等の様々な事情により保護者と暮らすことができない子どもを、できる限り家庭的な環境で養育するため、県と連携し里親制度の普及・啓発を行います。										A・B・C・D				
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標				R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	
啓発活動の実施		2	2	↑	↑	↑										
R3年度の現状	10月の里親啓発月間には広報紙へ掲載、11月の児童虐待防止啓発月間には児童虐待防止の啓発パネル展示と共に、里親啓発のポスター掲示を行いました。里親制度の理解を深めるため、里親を講師にお招きし、市職員等を対象に研修会を開催しました。					課題解決のための改善策		引き続き、10月の里親啓発月間には広報やポスター掲示により、里親制度の普及・啓発活動を行います。								
これまでの課題	里親制度について、積極的な普及・啓発活動を行い、里親制度に関する理解を深める必要があります。					R5からR6年度の取り組み		広報やポスター掲示等により里親制度の普及・啓発活動に努めると共に、千葉県等の啓発活動等に協力し、啓発に努めます。								
(2)ひとり親家庭への支援の充実																
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和3年度評価				
121	ひとり親家庭相談 (子ども家庭課)	母子父子自立支援員の専門性のスキルアップを図り、ひとり親家庭の悩みを解決し、自立を図られるよう母子・父子自立支援員等による相談を実施します。										A・B・C・D				
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標				R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	
相談件数		913	→	→	→	→										
R3年度の現状	母子・父子自立支援員が、児童扶養手当の申請時等に、ひとり親家庭の相談に対応し、自立を支援しました。また、ハローワークと連携し、職業相談・職業紹介など就労支援を行いました。					課題解決のための改善策		母子父子自立支援員の質の向上のため、千葉県等の研修に参加します。								
これまでの課題	安心して相談できるようにするため、母子父子自立支援員の質を向上する必要があります。					R5からR6年度の取り組み		引き続き、ひとり親家庭の悩みを解決し、自立を図られるよう母子・父子自立支援員等による相談を実施します。また、千葉県が主催する研修等に参加し、母子父子自立支援員の専門性のスキルアップを図ります。								
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和3年度評価				
122	母子家庭等就労促進費用の 助成(子ども家庭課)	母子家庭及び父子家庭の自立のために、就職に役立つ技術や資格取得のための一定の講座受講料の一部を助成するとともに、1年以上資格取得のための養成機関に在籍する場合に、4年間を限度として毎月一定額の給付金を支給します。また、安定した就業と自立のために高卒程度認定試験の合格を目指すひとり親家庭を対象として学び直し及び就労を支援するための給付金を支給します。										A・B・C・D				
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標				R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	
R3年度の現状		母子家庭及び父子家庭の自立のために、就職に役立つ技術や資格取得のための一定の講座受講料の一部を助成しました。(自立支援教育訓練給付金)また、1年以上資格取得のための養成機関に在籍する場合に、毎月一定額の給付金を支給しました。(高等職業訓練促進給付金)					課題解決のための改善策		母子家庭等就労促進費用の助成について、ホームページや現況届の通知等を活用し、周知を図っていきます。							
これまでの課題	母子家庭及び父子家庭の自立のために、就職に役立つ技術や資格を取得するための助成があることを周知する必要があります。					R5からR6年度の取り組み		母子家庭や父子家庭の自立支援及び就労促進のために、引き続き実施します。								
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和3年度評価				
123	ひとり親家庭等生活上向上事業 (子ども家庭課)	ひとり親家庭等であり、所得が少ない家庭の子どもに学習支援を行うことによって、経済的格差及び教育格差の解消を図ります。										A・B・C・D				
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標				R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	
利用者数		115	↑	↑	↑	↑	学習の習慣が身についたと回答した児童数(%)				68.2	↑	↑	↑	↑	
協定塾数		65	↑	↑	↑	↑	希望通りの高校に進学できたと回答した児童数(%)				77.3	↑	↑	↑	↑	
R3年度の現状	令和3年度は、対象者を中学校2年生及び中学校3年生に拡大し、生活保護世帯、ひとり親世帯の子どもの学習環境の整備に努めました。					課題解決のための改善策		令和4年度からは、毎月の支援に加えて、夏期及び冬期の追加支援を行います。また、引き続き、子どもの学習支援について、ホームページや現況届時を活用し、周知をはかっています。								
これまでの課題	子どもの学習支援を利用してもらうために、周知する必要があります					R5からR6年度の取り組み		引き続き児童扶養手当現況時に直接、周知・案内を行い、利用促進を促すことで、利用者の増加を図り、学習環境の整備に努めます。								

(3)障害のある子どもがいる家庭への支援の充実													
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標								令和3年度評価			
124	相談体制の充実 (障害者支援課・児童発達支援センター)	<p>【障害者支援課】障害を持つ児童の家族からの各種相談について、関係機関と連携を図りながら相談体制の充実と整備に努めます。また、障害児相談支援事業を実施し、障害児のサービス等利用計画を適正に作成できるよう体制を整備します。</p> <p>【児童発達支援センター】専門職による相談を実施します。相談支援サービスを利用希望している方の受け入れができるように体制を整備します。</p>								AⓐBⓐCⓐD			
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標		R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標
障害児相談支援事業所数【障害者支援課】		14	13	15	16	17	障害児支援利用計画作成者数【障害者支援課】		509	473	550	600	650
障害児相談支援専門員(配置数)【児童発達支援センター】		3	3	→	→	→	障害児相談支援(計画相談実施件数)【児童発達支援センター】		544	→	→	→	→
R3年度の現状	計画を作成できる事業所は増加していますが、障害児通所支援利用者の伸びが上回る状況が続いています。【障害者支援課】療育を利用するお子さんが増加していることで、障害児相談支援を利用希望する方も増加しています。【児童発達支援センター】						課題解決のための改善策	既存の障害児通所事業所及び新規参入の事業者に障害児相談支援の実施について呼びかけ、事業実施を支援します。【障害者支援課】相談支援専門員を1名増員したことで、利用希望の方へサービスが行き届くようにしています。また、引き続き、利用者のニーズに応えられるよう対象職員が相談支援従事者初任者研修やより専門的な研修等に参加していきます。【児童発達支援センター】					
これまでの課題	セルフプランの割合を減少させ、相談支援専門員による相談と適正なサービスの利用のための計画を作成していく必要があります。【障害者支援課】職員一人当たり月に受け入れ件数に上限があるため、すぐ受け入れできないこともありましたが、利用者ニーズに応えられるために、相談支援専門員の増員や、職員のスキルアップとして、医療的ケア児コーディネーター養成研修を受講し、より専門的な知識を基に相談にかかわるように努めます。【児童発達支援センター】						R5からR6年度の取り組み	児童発達支援センターの民間事業者参入も含めて検討し、相談支援体制について協議していきます。【障害者支援課】地域における中核的な療育支援施設としての役割・機能を担うよう引き続き相談業務の充実を図ります。【児童発達支援センター】					
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標								令和3年度評価			
125	就学相談・指導(指導課)	就学前児、就学児(小中)を対象に相談を受け面接をし、一人ひとりの個性や能力を伸ばすための適切な就学先の提供に努めます。また、医療、療育施設、福祉施設、保幼小中、特別支援学級と連携を図り、保護者への情報提供も行います。								AⓐBⓐCⓐD			
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標		R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標
就学相談件数		413	→	→	→	→	面談を重ね、本人・保護者の願いに添った就学支援につなげた割合		100	→	100	100	100
R3年度の現状	就学前時、就学児(小中)を対象に、一人ひとりの個性や能力を伸ばすための適切な就学先の提供に努めました。						課題解決のための改善策	令和4年度より、流山市就学説明会を開催することにしました。就学相談を希望している保護者に担当する職員を紹介することで安心して就学相談を受けていただけるようにしました。					
これまでの課題	児童生徒の増加や教育的ニーズの多様化に伴い、相談件数が増加しているため、スムーズな就学相談を行っていくことが課題です。						R5からR6年度の取り組み	今後も、医療、療育施設、福祉施設、保幼小中、特別支援学校と連携を図り、保護者に情報提供を行っていただけるよう、連携を深めていきます。					
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標								令和3年度評価			
★126	療育指導・機能訓練(障害者支援課・児童発達支援センター)	<p>【障害者支援課】障害のある児童の自立のため、障害児通所支援事業により、障害児相談支援、児童発達支援、保育所等訪問支援及び放課後等デイサービスなどの事業を実施します。</p> <p>【児童発達支援センター】集団・個別療育、機能訓練を実施していきます。</p>								AⓐBⓐCⓐD			
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標		R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標
障害児通所支援事業所数【障害者支援課】		33	27	34	35	36	障害児通所支援事業所延べ利用者数【障害者支援課】		10,076	11,228	10,500	11,000	11,500
PT(理学療法)・OT(作業療法)訓練外来実人数【児童発達支援センター】		55	54	55	→	→	PT(理学療法)・OT(作業療法)延べ利用人数【児童発達支援センター】		701	587	700	→	→
外来療育実人数【児童発達支援センター】		14	15	15	→	→	外来療育延べ利用人数【児童発達支援センター】		139	166	150	→	→
R3年度の現状	新型コロナウイルス感染症の影響はあったものの、利用者数及び事業所数ともに増加しており、療育支援が必要な児童に対し、個別または集団でのサービス提供を行い、自立に向けた支援を行いました。【障害者支援課】(PT・OT)感染症対策を行いながら、個別の機能訓練をととして児童の運動発達を促すことや感覚運動機能の向上を図ってきました。(外来療育)1クラス当たりの人数を6人までにし、感染症対策を行いながらお子さんの全体的な発達を促す支援を行ってきました。また、親子で通うことで、お子さんとの関わり方や保護者どうしのつながりなど、保護者支援を行ってきました。【児童発達支援センター】						課題解決のための改善策	保育所等訪問支援の制度周知のため、個別に関係機関に説明していくとともに、関係機関が集まる会議等の機会を通じ周知を図ります。千葉県で行う医療的ケア児等コーディネーター養成研修の受講を行うとともに、協議の場設置に向けた検討を行います。また、児童発達支援センターの整備について、市で設置する児童発達支援センターとの役割分担を明確にし、方向性を協議します。【障害者支援課】(PT・OT)PT室以外でも訓練できるように空き部屋を利用して予約しやすいようにしています。(外来療育)年少以上のお子さんの利用が増えているため、対象のお子さんの年齢を2歳児以上から1歳児以上にしていきます。【児童発達支援センター】					
これまでの課題	保育所等訪問支援においては、障害児が通う関係機関への制度の周知が不足しており、スムーズな連携を行うためには更なる周知が必要です。医療的なケアが必要な障害児への支援体制や児童発達支援センターを中心とした重層的な地域支援体制の構築が課題となっています。【障害者支援課】(PT・OT)PT室の利用が重ならないように支援しているため、空き状況が少ない日もあります。(外来療育)受給者証を取得し、児童発達支援を利用する方が増えているため、療育を使う前段階としての外来療育を希望する方が年々減少している状況です。【児童発達支援センター】						R5からR6年度の取り組み	療育が必要な児童に対するサービス提供体制を維持するとともに、重層的な地域支援体制の構築のため継続して検討していきます。【障害者支援課】感染症対策を行いながら、個別、集団の支援を継続していきます。親子で通う中でお子さんとの日々のかかわりも充実できるように支援していきます。【児童発達支援センター】					

番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和3年度評価				
127	在宅介護サービス(障害者支援課)	障害児を抱えている母親の疾病等在宅介護が必要であると判断された場合は、ホームヘルパーの利用により支援します。										A・B・C・D				
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標				R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	
在宅介護を決定している障害児数		14	20	15	15	15	在宅介護の利用日数(障害児)				1,357	1,500	1,400	1,400	1,400	
R3年度の現状	医療的なケアが必要な児童などへ、家族の介護負担軽減のためヘルパー派遣を行いました。	課題解決のための改善策				対象児に合った適切なモニタリング頻度の設定を行い、相談支援専門員と情報交換をするとともに、関係課と連携を図ることで、継続した支援体制を確保します。										
これまでの課題	ヘルパー派遣をスムーズに行うため、相談支援専門員との連携や情報共有が必要です。	R5からR6年度の取り組み				医療的ケア児等コーディネーターを配置し、在宅の医療的ケア児への支援について連携を図り、適切なサービス導入や家族の負担軽減を図ります。										
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和3年度評価				
128	特別支援教育の推進(指導課)	特別支援教育コーディネーターを招集し、コーディネーターとしての資質の向上のため、特別支援教育推進研修会を行います。また、特別支援学級(知的・情緒・言語・難聴)の担任、通級指導教室(言語・難聴)の担当者の研修会も行います。										A・B・C・D				
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標				R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	
特別支援推進研修会 研修回数		3	→	3	3	3	研修会参加対象者数				26	26	27	27	28	
特別支援学級(知的・情緒)研修会 研修回数		5	→	5	5	5	研修会参加対象者数				88	63	98	→	→	
特別支援学級(言語・難聴)研修会 研修回数		5	→	5	5	5	研修会参加対象者数				9	8	8	→	→	
R3年度の現状	大学教授を招聘しての研修会を開催したり、コーディネーターの活動について情報交換したりしました。また、令和3年度からは障害種に分けて研修会を実施しました。	課題解決のための改善策				大学や他機関が開催する研修について情報提供を行うと共に、教育委員会指導主事による校内研修等を積極的に行っていきます。										
これまでの課題	感染症対策を講じながらの開催となり、各校の代表教員の参加としました。そのため、参加人数が制限されました。	R5からR6年度の取り組み				研修の内容をさらに充実させ、さらなる障害種に応じた専門性の向上を図っていきます。										
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和3年度評価				
★129	居宅訪問型児童発達支援(児童発達支援センター)	通所による児童発達支援の利用が難しい障害児の居宅を訪問し療育支援を実施します。										A・B・C・D				
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標				R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	
居宅訪問型児童発達支援利用実人数		0	1	1	→	→	延べ利用人数				0	12	12	→	→	
R3年度の現状	令和元年度から新規事業として加え、サービスを必要とする方に周知を行いました。現在までのところ対象となる児童がおらず、利用申込がなかったため利用実績は0でした。	課題解決のための改善策				サービスを必要とする方に適切な情報が届けられるよう関係機関との連携を図っていきます。また、相談支援の中でサービス利用につなげていくように努めます。										
これまでの課題	通所できるようになった時期に相談につながり、小さいうちは在宅で支援に繋がっていないケースもありました。色々な支援の形があることを、関係機関に周知していくことは今後も必要です。	R5からR6年度の取り組み				今後も関係機関への周知を図り、外出することが困難なお子さんの生活能力向上のために必要な支援を行っていきます。										
(4)子どもの貧困対策の推進																
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和3年度評価				
130	子どもの貧困対策(子ども家庭課)	生活保護世帯、ひとり親世帯の子どもへの学習支援や日常生活を身に付けるための支援を行い、子どもが健全に育成される環境を整えながら子どもの貧困の連鎖の防止に向けた取り組みを行います。										A・B・C・D				
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標				R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	
R3年度の現状	児童扶養手当の現況時に、ひとり親家庭支援制度に関するアンケートを実施し、学習支援対象者の拡大を希望する声が多かったため、拡大に繋げることができました。	課題解決のための改善策				子どもの貧困についてのアンケート等を実施するために、アンケート項目等を研究していきます。										
これまでの課題	子どもの貧困についてのアンケート等を実施し、実態を把握する必要があります。	R5からR6年度の取り組み				引き続き、子どもが健全に育成される環境を整えながら子どもの貧困の連鎖の防止に向けた取り組みを行います。										